



JASPS_2020

「社会政策学会 研究環境調査——2020 年ハラスメント調査報告書」

はじめに

本報告書は、ジェンダー部会が社会政策学会の活動の一環として 2020 年 5 月～6 月に実施した「社会政策学会研究環境調査——2020 年ハラスメント調査」結果をまとめたものである。全回答についてのクロス集計と、2020 年秋の第 141 回大会共通論題で報告した際のパワーポイント資料、調査票で構成されている。

日本の学界では研究者養成を焦点の一つとして、学術の再生産が課題となっている。本調査は、当社会政策学会でよりよい研究環境を整備していく一歩として、ハラスメント予防等についての取組みを考え、研究者養成に資することを目的に実施した。学会等の学術団体の構成員を対象とするハラスメント実態調査については、アメリカ経済学会（American Economic Association）が 2019 年に現・元会員を対象とする大規模調査を実施し、AEA Professional Climate Survey: Final Report を発表している。本調査はこのアメリカ経済学会の報告書所収の調査票を参考に、①大学院時代、②所属する研究・教育組織、③研究会・学会等のフォーマル／インフォーマルな学術交流の場に目し、研究職キャリアの各段階におけるハラスメント経験についてたずねた。本学会で初めて行ったハラスメント実態調査であり、全会員を対象とするウェブ調査として実施した。回答フォームへのアクセスにあたっては、会員のみで通知したパスワードの入力を必須とした。

調査期間は 2020 年 5 月 7 日から 6 月 10 日（当初 5 月 31 日までを 10 日延長）、回答数は 156 件で（女性 50.6%、男性 48.7%）でいずれも有効票であった。2020 年 3 月時点の本学会の会員数は 1168 人であり回答率は 13.3%と高くはないが、回答者の一定数が研究職キャリアの各段階においてハラスメント経験があったと答えている。本報告書は、クロス集計およびパワーポイント資料において、アメリカ経済学会の調査結果との比較もまじえ、本調査結果について、会員と共有することを目的とする。なお最後になったが、この調査に回答し会員の研究環境の可視化に貢献してくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

2021 年 3 月

ジェンダー部会「社会政策学会研究環境調査」プロジェクトメンバー

大沢真理（東京大学）、金井郁（埼玉大学）、金英（釜山国立大学）、

申きよん（お茶の水女子大学）、萩原久美子（下関市立大学）、

藤原千沙（法政大学）、村尾祐美子（東洋大学・プロジェクトアドバイザー）

I 属性

(1) あなたの性別(性自認)をお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	女性	79	50.6
2	男性	76	48.7
3	どちらでもない/わからない	1	0.6

(2) あなたの年齢に当てはまるものをお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	10～20代	3	1.9
2	30代	28	17.9
3	40代	58	37.2
4	50代	38	24.4
5	60代	26	16.7
6	70代またはそれ以上	3	1.9

(3) 現在の研究にかかわる大学院修士課程（日本の大学院に限りません）に入学してから何年ですか。最初の年を1年目と数えてください

		回答数	%
全体		156	100.0
1	1～5年	10	6.4
2	6～10年	23	14.7
3	11～20年	43	27.6
4	21年目以上	80	51.3

(4) あなたは博士号を取得していますか、していませんか。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	取得している	90	57.7
2	取得していない	66	42.3

(5) 次のうち、あなたに当てはまるものをお答えください。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	日本国籍をもっている	146	93.6
2	日本国籍をもっていない	10	6.4

(6) 育児や介護（高齢者や障がい児者等のケア）の経験についてお尋ねします。あなたの状況に当てはまるかどうかをお答えください。

① 現在、日常的に育児の主な担い手である。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	はい	30	19.2
2	いいえ	126	80.8

② 過去、日常的に育児の主な担い手であった。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	はい	35	22.4
2	いいえ	121	77.6

③ 現在、日常的に介護の主な担い手である。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	はい	7	4.5
2	いいえ	149	95.5

④ 過去、日常的に介護の主な担い手であった。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	はい	16	10.3
2	いいえ	140	89.7

(7) あなたは現在、大学院生ですか(日本以外の大学院も含みます)。

		回答数	%
全体		156	100.0
1	大学院生である(修士課程、博士課程、大学院研究生、休学中を含む)	17	10.9
2	大学院生ではない	139	89.1

(8) 大学院生ではない方に伺います。あなたの現在の所属先での職位/役職をお答えください。複数の勤め先がある方は、主なもの1つを選んでください。

		回答数	%
全体		139	100.0
1	定年退職した教員・研究員・名誉教授等	8	5.8
2	教授(任期なし)	57	41.0
3	准教授(任期なし)	41	29.5
4	講師(任期なし)	5	3.6
5	助教(任期なし)	2	1.4
6	研究員(任期なし)	1	0.7
7	教授(任期あり・有期)	0	0.0
8	准教授(任期あり・有期)	4	2.9
9	助教・講師(任期あり・有期)	8	5.8
10	研究員(任期あり/学振PD含む)	4	2.9
11	非常勤講師・兼任教員等	4	2.9
12	その他(民間企業の非研究職、NPO職員、自営業等)	3	2.2
13	所属先はない(無職を含む)	2	1.4

属性間クロス

		該当数	女性	男性	い ど ち ら で も な い ／ わ か ら な	女性	男性	い ど ち ら で も な い ／ わ か ら な
全体		156	79	76	1	50.6	48.7	0.6
年 齢	10代、20代、30代	31	13	18	0	41.9	58.1	0.0
	40代	58	33	24	1	56.9	41.4	1.7
	50代	38	21	17	0	55.3	44.7	0.0
	60代、70代以上	29	12	17	0	41.4	58.6	0.0
現 在 の 地	大学院生	17	10	7	0	58.8	41.2	0.0
	院生以外で任期なし	114	58	55	1	50.9	48.2	0.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	11	14	0	44.0	56.0	0.0
研 究 歴	研究歴10年以下	33	15	18	0	45.5	54.5	0.0
	研究歴11-20年	43	21	21	1	48.8	48.8	2.3
	研究歴21年以上	80	43	37	0	53.8	46.3	0.0
状 介 育 況 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	42	15	0	73.7	26.3	0.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	37	61	1	37.4	61.6	1.0
国 籍	日本国籍を【もっている】	146	70	75	1	47.9	51.4	0.7
	日本国籍を【もっていない】	10	9	1	0	90.0	10.0	0.0
号 博 得 取 士	博士号を【取得している】	90	45	44	1	50.0	48.9	1.1
	博士号を【取得していない】	66	34	32	0	51.5	48.5	0.0

II 日本の大学・大学院・研究機関等における経験

大学院生の時に、以下のようなことについて、自分自身が経験をしたり、他の人について見聞きしたりしたことはありますか、それともありませんか。

- (1) 他の学生に比べて、就学・研究支援を受けにくい（研究費の申請、奨学金の申請、授業料の減免申請、海外渡航・留学等の諸手続に必要な推薦状を教員が書いてくれない等）。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	17	134	11.3	88.7
性別	女性	77	10	67	13.0	87.0
	男性	73	7	66	9.6	90.4
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	7	51	12.1	87.9
	50代	35	5	30	14.3	85.7
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の 地	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	11	98	10.1	89.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	6	26	18.8	81.3
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	77	8	69	10.4	89.6
育 児 状 況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	8	47	14.5	85.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	9	87	9.4	90.6
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	15	127	10.6	89.4
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博 士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	87	10	77	11.5	88.5
	博士号を【取得していない】	64	7	57	10.9	89.1

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	53	98	35.1	64.9
性別	女性	77	34	43	44.2	55.8
	男性	73	18	55	24.7	75.3
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	14	17	45.2	54.8
	40代	58	19	39	32.8	67.2
	50代	35	13	22	37.1	62.9
	60代、70代以上	27	7	20	25.9	74.1
現在の 地位	大学院生	17	6	11	35.3	64.7
	院生以外で任期なし	109	35	74	32.1	67.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	12	13	48.0	52.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	13	19	40.6	59.4
	研究歴11～20年	42	15	27	35.7	64.3
	研究歴21年以上	77	25	52	32.5	67.5
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	24	31	43.6	56.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	29	67	30.2	69.8
国籍	日本国籍を【もっている】	142	49	93	34.5	65.5
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	30	57	34.5	65.5
	博士号を【取得していない】	64	23	41	35.9	64.1

(2) 他の学生に比べて、研究補助、ティーチング・アシスタントなど有償の仕事が与えられない。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	12	139	7.9	92.1
性別	女性	77	9	68	11.7	88.3
	男性	73	3	70	4.1	95.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	3	28	9.7	90.3
	40代	58	3	55	5.2	94.8
	50代	35	3	32	8.6	91.4
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の 地位 の 地	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	8	101	7.3	92.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	3	29	9.4	90.6
	研究歴11－20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	77	6	71	7.8	92.2
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	5	91	5.2	94.8
国籍	日本国籍を【もっている】	142	10	132	7.0	93.0
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	87	8	79	9.2	90.8
	博士号を【取得していない】	64	4	60	6.3	93.8

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	35	116	23.2	76.8
性別	女性	77	26	51	33.8	66.2
	男性	73	8	65	11.0	89.0
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	8	23	25.8	74.2
	40代	58	16	42	27.6	72.4
	50代	35	7	28	20.0	80.0
	60代、70代以上	27	4	23	14.8	85.2
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	26	83	23.9	76.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	6	19	24.0	76.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	7	25	21.9	78.1
	研究歴11～20年	42	12	30	28.6	71.4
	研究歴21年以上	77	16	61	20.8	79.2
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	17	38	30.9	69.1
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	18	78	18.8	81.3
国籍	日本国籍を【もっている】	142	32	110	22.5	77.5
	日本国籍を【もっていない】	9	3	6	33.3	66.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	20	67	23.0	77.0
	博士号を【取得していない】	64	15	49	23.4	76.6

(3) 他の学生に比べて、指導教員に研究指導をしてもらえない。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	24	127	15.9	84.1
性別	女性	77	19	58	24.7	75.3
	男性	73	5	68	6.8	93.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	6	25	19.4	80.6
	40代	58	9	49	15.5	84.5
	50代	35	6	29	17.1	82.9
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	17	92	15.6	84.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	4	21	16.0	84.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	6	26	18.8	81.3
	研究歴11～20年	42	8	34	19.0	81.0
	研究歴21年以上	77	10	67	13.0	87.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	11	44	20.0	80.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	13	83	13.5	86.5
国籍	日本国籍を【もっている】	142	22	120	15.5	84.5
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	15	72	17.2	82.8
	博士号を【取得していない】	64	9	55	14.1	85.9

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	84	67	55.6	44.4
性別	女性	77	49	28	63.6	36.4
	男性	73	34	39	46.6	53.4
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	21	10	67.7	32.3
	40代	58	32	26	55.2	44.8
	50代	35	17	18	48.6	51.4
	60代、70代以上	27	14	13	51.9	48.1
現在の 地位	大学院生	17	9	8	52.9	47.1
	院生以外で任期なし	109	61	48	56.0	44.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	14	11	56.0	44.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	21	11	65.6	34.4
	研究歴11～20年	42	24	18	57.1	42.9
	研究歴21年以上	77	39	38	50.6	49.4
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	33	22	60.0	40.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	51	45	53.1	46.9
国籍	日本国籍を【もっている】	142	77	65	54.2	45.8
	日本国籍を【もっていない】	9	7	2	77.8	22.2
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	46	41	52.9	47.1
	博士号を【取得していない】	64	38	26	59.4	40.6

(4) 他の教員や研究者から助言やアドバイスをもらうことを、指導教員によって不当に妨げられる。

(a)自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		151	16	135	10.6	89.4
性 別	女性	77	9	68	11.7	88.3
	男性	73	7	66	9.6	90.4
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	2	29	6.5	93.5
	40代	58	8	50	13.8	86.2
	50代	35	5	30	14.3	85.7
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現 在 の 地	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	13	96	11.9	88.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	1	24	4.0	96.0
研 究 歴	研究歴10年以下	32	3	29	9.4	90.6
	研究歴11－20年	42	4	38	9.5	90.5
	研究歴21年以上	77	9	68	11.7	88.3
況 の 介 育 状 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	9	87	9.4	90.6
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	15	127	10.6	89.4
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	9	78	10.3	89.7
	博士号を【取得していない】	64	7	57	10.9	89.1

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	63	88	41.7	58.3
性別	女性	77	38	39	49.4	50.6
	男性	73	24	49	32.9	67.1
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	15	16	48.4	51.6
	40代	58	27	31	46.6	53.4
	50代	35	14	21	40.0	60.0
	60代、70代以上	27	7	20	25.9	74.1
現在の地位	大学院生	17	7	10	41.2	58.8
	院生以外で任期なし	109	46	63	42.2	57.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	10	15	40.0	60.0
研究歴	研究歴10年以下	32	17	15	53.1	46.9
	研究歴11-20年	42	18	24	42.9	57.1
	研究歴21年以上	77	28	49	36.4	63.6
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	26	29	47.3	52.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	37	59	38.5	61.5
国籍	日本国籍を【もっている】	142	57	85	40.1	59.9
	日本国籍を【もっていない】	9	6	3	66.7	33.3
博士号取得	博士号を【取得している】	87	35	52	40.2	59.8
	博士号を【取得していない】	64	28	36	43.8	56.3

(5) 自分の意に反して、指導教員に授業準備や研究会などの庶務、私的な雑務をやらされる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	25	126	16.6	83.4
性別	女性	77	15	62	19.5	80.5
	男性	73	9	64	12.3	87.7
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	9	49	15.5	84.5
	50代	35	9	26	25.7	74.3
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の 地位 の 地	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	20	89	18.3	81.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	4	21	16.0	84.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	4	28	12.5	87.5
	研究歴11－20年	42	7	35	16.7	83.3
	研究歴21年以上	77	14	63	18.2	81.8
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	11	44	20.0	80.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	14	82	14.6	85.4
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	23	119	16.2	83.8
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博 士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	87	13	74	14.9	85.1
	博士号を【取得していない】	64	12	52	18.8	81.3

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	80	71	53.0	47.0
性別	女性	77	42	35	54.5	45.5
	男性	73	37	36	50.7	49.3
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	19	12	61.3	38.7
	40代	58	30	28	51.7	48.3
	50代	35	17	18	48.6	51.4
	60代、70代以上	27	14	13	51.9	48.1
現在の 地位	大学院生	17	7	10	41.2	58.8
	院生以外で任期なし	109	59	50	54.1	45.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	14	11	56.0	44.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	17	15	53.1	46.9
	研究歴11～20年	42	23	19	54.8	45.2
	研究歴21年以上	77	40	37	51.9	48.1
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	35	20	63.6	36.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	45	51	46.9	53.1
国籍	日本国籍を【もっている】	142	74	68	52.1	47.9
	日本国籍を【もっていない】	9	6	3	66.7	33.3
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	46	41	52.9	47.1
	博士号を【取得していない】	64	34	30	53.1	46.9

(6) 他の学生とは異なり、指導教員が参加する研究会や共同研究に誘ってもらえない

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	20	131	13.2	86.8
性別	女性	77	12	65	15.6	84.4
	男性	73	8	65	11.0	89.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	8	50	13.8	86.2
	50代	35	3	32	8.6	91.4
	60代、70代以上	27	5	22	18.5	81.5
現在の 地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	13	96	11.9	88.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	5	20	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11～20年	42	5	37	11.9	88.1
	研究歴21年以上	77	10	67	13.0	87.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	9	46	16.4	83.6
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	11	85	11.5	88.5
国籍	日本国籍を【もっている】	142	18	124	12.7	87.3
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	12	75	13.8	86.2
	博士号を【取得していない】	64	8	56	12.5	87.5

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	38	113	25.2	74.8
性別	女性	77	24	53	31.2	68.8
	男性	73	14	59	19.2	80.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	8	23	25.8	74.2
	40代	58	15	43	25.9	74.1
	50代	35	6	29	17.1	82.9
	60代、70代以上	27	9	18	33.3	66.7
現在の 地位	大学院生	17	5	12	29.4	70.6
	院生以外で任期なし	109	27	82	24.8	75.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	6	19	24.0	76.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	8	24	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	77	20	57	26.0	74.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	19	36	34.5	65.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	19	77	19.8	80.2
国籍	日本国籍を【もっている】	142	35	107	24.6	75.4
	日本国籍を【もっていない】	9	3	6	33.3	66.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	21	66	24.1	75.9
	博士号を【取得していない】	64	17	47	26.6	73.4

(7) ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)から研究内容について理不尽な評価をされる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	30	121	19.9	80.1
性別	女性	77	13	64	16.9	83.1
	男性	73	17	56	23.3	76.7
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	7	24	22.6	77.4
	40代	58	12	46	20.7	79.3
	50代	35	8	27	22.9	77.1
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	25	84	22.9	77.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11-20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	77	19	58	24.7	75.3
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	11	44	20.0	80.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	19	77	19.8	80.2
国籍	日本国籍を【もっている】	142	29	113	20.4	79.6
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
博士号取得	博士号を【取得している】	87	15	72	17.2	82.8
	博士号を【取得していない】	64	15	49	23.4	76.6

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	69	82	45.7	54.3
性別	女性	77	37	40	48.1	51.9
	男性	73	32	41	43.8	56.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	15	16	48.4	51.6
	40代	58	28	30	48.3	51.7
	50代	35	11	24	31.4	68.6
	60代、70代以上	27	15	12	55.6	44.4
現在の 地位	大学院生	17	6	11	35.3	64.7
	院生以外で任期なし	109	54	55	49.5	50.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	9	16	36.0	64.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	14	18	43.8	56.3
	研究歴11～20年	42	18	24	42.9	57.1
	研究歴21年以上	77	37	40	48.1	51.9
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	29	26	52.7	47.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	40	56	41.7	58.3
国籍	日本国籍を【もっている】	142	64	78	45.1	54.9
	日本国籍を【もっていない】	9	5	4	55.6	44.4
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	39	48	44.8	55.2
	博士号を【取得していない】	64	30	34	46.9	53.1

(8) ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)から攻撃的な態度を取られる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		151	46	105	30.5	69.5
性 別	女性	77	24	53	31.2	68.8
	男性	73	22	51	30.1	69.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	11	20	35.5	64.5
	40代	58	20	38	34.5	65.5
	50代	35	11	24	31.4	68.6
	60代、70代以上	27	4	23	14.8	85.2
現 在 の 地	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	34	75	31.2	68.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	9	16	36.0	64.0
研 究 歴	研究歴10年以下	32	9	23	28.1	71.9
	研究歴11－20年	42	12	30	28.6	71.4
	研究歴21年以上	77	25	52	32.5	67.5
状 護 ／ 育 児 の 介 入	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	15	40	27.3	72.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	31	65	32.3	67.7
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	44	98	31.0	69.0
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	29	58	33.3	66.7
	博士号を【取得していない】	64	17	47	26.6	73.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある	ない
全体		151	84	67	55.6	44.4
性別	女性	77	46	31	59.7	40.3
	男性	73	37	36	50.7	49.3
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	21	10	67.7	32.3
	40代	58	35	23	60.3	39.7
	50代	35	14	21	40.0	60.0
	60代、70代以上	27	14	13	51.9	48.1
現在の地位	大学院生	17	5	12	29.4	70.6
	院生以外で任期なし	109	62	47	56.9	43.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	17	8	68.0	32.0
研究歴	研究歴10年以下	32	18	14	56.3	43.8
	研究歴11～20年	42	24	18	57.1	42.9
	研究歴21年以上	77	42	35	54.5	45.5
状況の育児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	33	22	60.0	40.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	51	45	53.1	46.9
国籍	日本国籍を【もっている】	142	80	62	56.3	43.7
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
博士号取得	博士号を【取得している】	87	51	36	58.6	41.4
	博士号を【取得していない】	64	33	31	51.6	48.4

- (9) ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)からため息や嘲笑を受けるなど軽視・無視される。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	26	125	17.2	82.8
性別	女性	77	14	63	18.2	81.8
	男性	73	12	61	16.4	83.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	8	23	25.8	74.2
	40代	58	11	47	19.0	81.0
	50代	35	5	30	14.3	85.7
	60代、70代以上	27	2	25	7.4	92.6
現在の地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	19	90	17.4	82.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	4	21	16.0	84.0
研究歴	研究歴10年以下	32	8	24	25.0	75.0
	研究歴11－20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	77	12	65	15.6	84.4
状況の育児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	9	46	16.4	83.6
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	17	79	17.7	82.3
国籍	日本国籍を【もっている】	142	24	118	16.9	83.1
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士号取得	博士号を【取得している】	87	14	73	16.1	83.9
	博士号を【取得していない】	64	12	52	18.8	81.3

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	50	101	33.1	66.9
性別	女性	77	24	53	31.2	68.8
	男性	73	25	48	34.2	65.8
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	15	16	48.4	51.6
	40代	58	17	41	29.3	70.7
	50代	35	7	28	20.0	80.0
	60代、70代以上	27	11	16	40.7	59.3
現在の 地位	大学院生	17	5	12	29.4	70.6
	院生以外で任期なし	109	37	72	33.9	66.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	8	17	32.0	68.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	12	20	37.5	62.5
	研究歴11～20年	42	16	26	38.1	61.9
	研究歴21年以上	77	22	55	28.6	71.4
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	20	35	36.4	63.6
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	30	66	31.3	68.8
国籍	日本国籍を【もっている】	142	46	96	32.4	67.6
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	28	59	32.2	67.8
	博士号を【取得していない】	64	22	42	34.4	65.6

(10) 指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)によって、ゼミや研究会での研究報告が盗用・剽窃される。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	16	135	10.6	89.4
性別	女性	77	12	65	15.6	84.4
	男性	73	4	69	5.5	94.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	7	51	12.1	87.9
	50代	35	1	34	2.9	97.1
	60代、70代以上	27	4	23	14.8	85.2
現在の地位	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	12	97	11.0	89.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究歴	研究歴10年以下	32	3	29	9.4	90.6
	研究歴11-20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	77	7	70	9.1	90.9
状況の育児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	9	87	9.4	90.6
国籍	日本国籍を【もっている】	142	14	128	9.9	90.1
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士号取得	博士号を【取得している】	87	10	77	11.5	88.5
	博士号を【取得していない】	64	6	58	9.4	90.6

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	52	99	34.4	65.6
性別	女性	77	31	46	40.3	59.7
	男性	73	21	52	28.8	71.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	10	21	32.3	67.7
	40代	58	24	34	41.4	58.6
	50代	35	8	27	22.9	77.1
	60代、70代以上	27	10	17	37.0	63.0
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	36	73	33.0	67.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	13	12	52.0	48.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	8	24	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	16	26	38.1	61.9
	研究歴21年以上	77	28	49	36.4	63.6
状 況 の 介 入	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	22	33	40.0	60.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	30	66	31.3	68.8
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	48	94	33.8	66.2
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	33	54	37.9	62.1
	博士号を【取得していない】	64	19	45	29.7	70.3

(11) 指導教員との1対1の場で指導教員から研究内容について理不尽な評価をされる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	17	134	11.3	88.7
性別	女性	77	13	64	16.9	83.1
	男性	73	4	69	5.5	94.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	2	29	6.5	93.5
	40代	58	8	50	13.8	86.2
	50代	35	5	30	14.3	85.7
	60代、70代以上	27	2	25	7.4	92.6
現在の 地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	12	97	11.0	89.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	4	28	12.5	87.5
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	77	10	67	13.0	87.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	10	86	10.4	89.6
国籍	日本国籍を【もっている】	142	16	126	11.3	88.7
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	9	78	10.3	89.7
	博士号を【取得していない】	64	8	56	12.5	87.5

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	57	94	37.7	62.3
性別	女性	77	36	41	46.8	53.2
	男性	73	21	52	28.8	71.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	13	18	41.9	58.1
	40代	58	22	36	37.9	62.1
	50代	35	11	24	31.4	68.6
	60代、70代以上	27	11	16	40.7	59.3
現在の地位	大学院生	17	7	10	41.2	58.8
	院生以外で任期なし	109	41	68	37.6	62.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	9	16	36.0	64.0
研究歴	研究歴10年以下	32	14	18	43.8	56.3
	研究歴11～20年	42	18	24	42.9	57.1
	研究歴21年以上	77	25	52	32.5	67.5
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	26	29	47.3	52.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	31	65	32.3	67.7
国籍	日本国籍を【もっている】	142	54	88	38.0	62.0
	日本国籍を【もっていない】	9	3	6	33.3	66.7
博士号取得	博士号を【取得している】	87	31	56	35.6	64.4
	博士号を【取得していない】	64	26	38	40.6	59.4

(12) 指導教員との1対1の場で指導教員から攻撃的な態度を取られる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	22	129	14.6	85.4
性別	女性	77	16	61	20.8	79.2
	男性	73	6	67	8.2	91.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	9	49	15.5	84.5
	50代	35	6	29	17.1	82.9
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の 地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	16	93	14.7	85.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	4	21	16.0	84.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11-20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	77	11	66	14.3	85.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	8	47	14.5	85.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	14	82	14.6	85.4
国籍	日本国籍を【もっている】	142	20	122	14.1	85.9
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	12	75	13.8	86.2
	博士号を【取得していない】	64	10	54	15.6	84.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	64	87	42.4	57.6
性別	女性	77	39	38	50.6	49.4
	男性	73	25	48	34.2	65.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	15	16	48.4	51.6
	40代	58	27	31	46.6	53.4
	50代	35	11	24	31.4	68.6
	60代、70代以上	27	11	16	40.7	59.3
現在の 地位	大学院生	17	7	10	41.2	58.8
	院生以外で任期なし	109	46	63	42.2	57.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	11	14	44.0	56.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	16	16	50.0	50.0
	研究歴11～20年	42	17	25	40.5	59.5
	研究歴21年以上	77	31	46	40.3	59.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	26	29	47.3	52.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	38	58	39.6	60.4
国籍	日本国籍を【もっている】	142	60	82	42.3	57.7
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	33	54	37.9	62.1
	博士号を【取得していない】	64	31	33	48.4	51.6

(13) 指導教員との1対1の場で指導教員からため息や嘲笑を受けるなど軽視・無視される。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		151	16	135	10.6	89.4
性 別	女性	77	13	64	16.9	83.1
	男性	73	3	70	4.1	95.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	6	52	10.3	89.7
	50代	35	4	31	11.4	88.6
	60代、70代以上	27	2	25	7.4	92.6
現 在 の 地	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	11	98	10.1	89.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研 究 歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11－20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	77	8	69	10.4	89.6
状 護 ／ 育 況 の 介 見	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	9	87	9.4	90.6
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	15	127	10.6	89.4
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	9	78	10.3	89.7
	博士号を【取得していない】	64	7	57	10.9	89.1

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		151	46	105	30.5	69.5
性 別	女性	77	28	49	36.4	63.6
	男性	73	18	55	24.7	75.3
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	10	21	32.3	67.7
	40代	58	19	39	32.8	67.2
	50代	35	8	27	22.9	77.1
	60代、70代以上	27	9	18	33.3	66.7
現 在 位 の 地	大学院生	17	5	12	29.4	70.6
	院生以外で任期なし	109	36	73	33.0	67.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	5	20	20.0	80.0
研 究 歴	研究歴10年以下	32	9	23	28.1	71.9
	研究歴11－20年	42	14	28	33.3	66.7
	研究歴21年以上	77	23	54	29.9	70.1
況 の 介 育 状 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	22	33	40.0	60.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	24	72	25.0	75.0
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	43	99	30.3	69.7
	日本国籍を【もっていない】	9	3	6	33.3	66.7
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	26	61	29.9	70.1
	博士号を【取得していない】	64	20	44	31.3	68.8

(14) 指導教員によって、指導教員との1対1の場での研究報告が盗用・剽窃される。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	5	146	3.3	96.7
性別	女性	77	5	72	6.5	93.5
	男性	73	0	73	0.0	100.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	0	31	0.0	100.0
	40代	58	2	56	3.4	96.6
	50代	35	1	34	2.9	97.1
	60代、70代以上	27	2	25	7.4	92.6
現在の 地位 の 地	大学院生	17	0	17	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	109	4	105	3.7	96.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	1	24	4.0	96.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	1	31	3.1	96.9
	研究歴11～20年	42	1	41	2.4	97.6
	研究歴21年以上	77	3	74	3.9	96.1
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	4	51	7.3	92.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	1	95	1.0	99.0
国籍	日本国籍を【もっている】	142	5	137	3.5	96.5
	日本国籍を【もっていない】	9	0	9	0.0	100.0
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	87	3	84	3.4	96.6
	博士号を【取得していない】	64	2	62	3.1	96.9

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	30	121	19.9	80.1
性別	女性	77	18	59	23.4	76.6
	男性	73	12	61	16.4	83.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	8	23	25.8	74.2
	40代	58	12	46	20.7	79.3
	50代	35	3	32	8.6	91.4
	60代、70代以上	27	7	20	25.9	74.1
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	21	88	19.3	80.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	6	19	24.0	76.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	6	26	18.8	81.3
	研究歴11～20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	77	14	63	18.2	81.8
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	15	40	27.3	72.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	15	81	15.6	84.4
国籍	日本国籍を【もっている】	142	28	114	19.7	80.3
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	17	70	19.5	80.5
	博士号を【取得していない】	64	13	51	20.3	79.7

(15) 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学会報告や論文発表を妨げられる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	9	142	6.0	94.0
性別	女性	77	8	69	10.4	89.6
	男性	73	1	72	1.4	98.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	2	29	6.5	93.5
	40代	58	4	54	6.9	93.1
	50代	35	2	33	5.7	94.3
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の 地位	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	6	103	5.5	94.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	2	23	8.0	92.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	4	28	12.5	87.5
	研究歴11-20年	42	1	41	2.4	97.6
	研究歴21年以上	77	4	73	5.2	94.8
状 護 ／ 育 況 の 介 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	4	51	7.3	92.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	5	91	5.2	94.8
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	8	134	5.6	94.4
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	6	81	6.9	93.1
	博士号を【取得していない】	64	3	61	4.7	95.3

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	39	112	25.8	74.2
性別	女性	77	25	52	32.5	67.5
	男性	73	14	59	19.2	80.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	11	20	35.5	64.5
	40代	58	15	43	25.9	74.1
	50代	35	5	30	14.3	85.7
	60代、70代以上	27	8	19	29.6	70.4
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	28	81	25.7	74.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	8	17	32.0	68.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	10	22	31.3	68.8
	研究歴11～20年	42	13	29	31.0	69.0
	研究歴21年以上	77	16	61	20.8	79.2
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	17	38	30.9	69.1
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	22	74	22.9	77.1
国籍	日本国籍を【もっている】	142	35	107	24.6	75.4
	日本国籍を【もっていない】	9	4	5	44.4	55.6
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	24	63	27.6	72.4
	博士号を【取得していない】	64	15	49	23.4	76.6

(16) 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学位取得を妨げられる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	12	139	7.9	92.1
性別	女性	77	11	66	14.3	85.7
	男性	73	1	72	1.4	98.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	4	27	12.9	87.1
	40代	58	3	55	5.2	94.8
	50代	35	4	31	11.4	88.6
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の 地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	109	8	101	7.3	92.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	2	23	8.0	92.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	77	4	73	5.2	94.8
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	7	48	12.7	87.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	5	91	5.2	94.8
国籍	日本国籍を【もっている】	142	10	132	7.0	93.0
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	9	78	10.3	89.7
	博士号を【取得していない】	64	3	61	4.7	95.3

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	45	106	29.8	70.2
性別	女性	77	30	47	39.0	61.0
	男性	73	15	58	20.5	79.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	10	21	32.3	67.7
	40代	58	20	38	34.5	65.5
	50代	35	8	27	22.9	77.1
	60代、70代以上	27	7	20	25.9	74.1
現在の 地位	大学院生	17	5	12	29.4	70.6
	院生以外で任期なし	109	32	77	29.4	70.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	8	17	32.0	68.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	11	21	34.4	65.6
	研究歴11～20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	77	23	54	29.9	70.1
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	21	34	38.2	61.8
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	24	72	25.0	75.0
国籍	日本国籍を【もっている】	142	40	102	28.2	71.8
	日本国籍を【もっていない】	9	5	4	55.6	44.4
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	27	60	31.0	69.0
	博士号を【取得していない】	64	18	46	28.1	71.9

(17) 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から就職を妨げられる。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	9	142	6.0	94.0
性別	女性	77	7	70	9.1	90.9
	男性	73	2	71	2.7	97.3
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	2	29	6.5	93.5
	40代	58	1	57	1.7	98.3
	50代	35	3	32	8.6	91.4
	60代、70代以上	27	3	24	11.1	88.9
現在の 地位	大学院生	17	0	17	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	109	8	101	7.3	92.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	1	24	4.0	96.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	1	31	3.1	96.9
	研究歴11～20年	42	2	40	4.8	95.2
	研究歴21年以上	77	6	71	7.8	92.2
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	6	49	10.9	89.1
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	3	93	3.1	96.9
国籍	日本国籍を【もっている】	142	8	134	5.6	94.4
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	6	81	6.9	93.1
	博士号を【取得していない】	64	3	61	4.7	95.3

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	35	116	23.2	76.8
性別	女性	77	24	53	31.2	68.8
	男性	73	11	62	15.1	84.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	7	24	22.6	77.4
	40代	58	14	44	24.1	75.9
	50代	35	9	26	25.7	74.3
	60代、70代以上	27	5	22	18.5	81.5
現在の 地位	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	26	83	23.9	76.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	6	19	24.0	76.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	5	27	15.6	84.4
	研究歴11-20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	77	20	57	26.0	74.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	14	41	25.5	74.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	21	75	21.9	78.1
国籍	日本国籍を【もっている】	142	30	112	21.1	78.9
	日本国籍を【もっていない】	9	5	4	55.6	44.4
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	19	68	21.8	78.2
	博士号を【取得していない】	64	16	48	25.0	75.0

(18) 自分だけ指導教員から特別に優遇されているとして、周囲からいじめにあう。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	3	148	2.0	98.0
性別	女性	77	2	75	2.6	97.4
	男性	73	1	72	1.4	98.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	1	30	3.2	96.8
	40代	58	1	57	1.7	98.3
	50代	35	0	35	0.0	100.0
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の地位	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	1	108	0.9	99.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	1	24	4.0	96.0
研究歴	研究歴10年以下	32	1	31	3.1	96.9
	研究歴11-20年	42	2	40	4.8	95.2
	研究歴21年以上	77	0	77	0.0	100.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	1	54	1.8	98.2
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	2	94	2.1	97.9
国籍	日本国籍を【もっている】	142	2	140	1.4	98.6
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
博士号取得	博士号を【取得している】	87	2	85	2.3	97.7
	博士号を【取得していない】	64	1	63	1.6	98.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	7	144	4.6	95.4
性別	女性	77	4	73	5.2	94.8
	男性	73	3	70	4.1	95.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	1	30	3.2	96.8
	40代	58	2	56	3.4	96.6
	50代	35	3	32	8.6	91.4
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の 地位	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	109	6	103	5.5	94.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	0	25	0.0	100.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	1	31	3.1	96.9
	研究歴11～20年	42	2	40	4.8	95.2
	研究歴21年以上	77	4	73	5.2	94.8
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	3	52	5.5	94.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	4	92	4.2	95.8
国籍	日本国籍を【もっている】	142	5	137	3.5	96.5
	日本国籍を【もっていない】	9	2	7	22.2	77.8
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	87	4	83	4.6	95.4
	博士号を【取得していない】	64	3	61	4.7	95.3

(19) 研究指導をする、相談にのる、研究に必要ななどの名目で、不適切な時間や場所に1対1で呼び出される。

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		151	7	144	4.6	95.4
性別	女性	77	4	73	5.2	94.8
	男性	73	3	70	4.1	95.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	1	30	3.2	96.8
	40代	58	4	54	6.9	93.1
	50代	35	1	34	2.9	97.1
	60代、70代以上	27	1	26	3.7	96.3
現在の 地位 の 地	大学院生	17	0	17	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	109	6	103	5.5	94.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	1	24	4.0	96.0
研究 歴	研究歴10年以下	32	1	31	3.1	96.9
	研究歴11-20年	42	2	40	4.8	95.2
	研究歴21年以上	77	4	73	5.2	94.8
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	5	50	9.1	90.9
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	2	94	2.1	97.9
国籍	日本国籍を【もっている】	142	6	136	4.2	95.8
	日本国籍を【もっていない】	9	1	8	11.1	88.9
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	87	6	81	6.9	93.1
	博士号を【取得していない】	64	1	63	1.6	98.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		151	36	115	23.8	76.2
性 別	女性	77	24	53	31.2	68.8
	男性	73	12	61	16.4	83.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	6	25	19.4	80.6
	40代	58	14	44	24.1	75.9
	50代	35	9	26	25.7	74.3
	60代、70代以上	27	7	20	25.9	74.1
現 在 位 の 地	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	109	28	81	25.7	74.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	5	20	20.0	80.0
研 究 歴	研究歴10年以下	32	6	26	18.8	81.3
	研究歴11－20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	77	19	58	24.7	75.3
況 の 介 育 状 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	16	39	29.1	70.9
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	96	20	76	20.8	79.2
国 籍	日本国籍を【もっている】	142	33	109	23.2	76.8
	日本国籍を【もっていない】	9	3	6	33.3	66.7
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	87	22	65	25.3	74.7
	博士号を【取得していない】	64	14	50	21.9	78.1

12 任期の有無に関わりなく、日本の大学・研究機関等に専任スタッフとして現在勤務している方、過去に勤務していた方にお聞きします。あなたは、専任スタッフとして勤務している時に、以下の項目に関するあなたの処遇や事柄で、差別的な対応だと感じた経験はありますか、それともありませんか。また、他の人についての処遇や事柄で、差別的な対応を見聞きしたことはありますか、それともありませんか。

(1) 採用についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	28	101	21.7	78.3
性別	女性	66	21	45	31.8	68.2
	男性	62	7	55	11.3	88.7
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	13	40	24.5	75.5
	50代	29	6	23	20.7	79.3
	60代、70代以上	26	7	19	26.9	73.1
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	22	87	20.2	79.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	6	14	30.0	70.0
研究歴	研究歴10年以下	12	1	11	8.3	91.7
	研究歴11～20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	75	16	59	21.3	78.7
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	16	34	32.0	68.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	12	67	15.2	84.8
国籍	日本国籍を【もっている】	122	27	95	22.1	77.9
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士号取得	博士号を【取得している】	85	22	63	25.9	74.1
	博士号を【取得していない】	44	6	38	13.6	86.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	52	77	40.3	59.7
性別	女性	66	37	29	56.1	43.9
	男性	62	15	47	24.2	75.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	6	15	28.6	71.4
	40代	53	20	33	37.7	62.3
	50代	29	14	15	48.3	51.7
	60代、70代以上	26	12	14	46.2	53.8
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	45	64	41.3	58.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	7	13	35.0	65.0
研究歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11－20年	42	14	28	33.3	66.7
	研究歴21年以上	75	35	40	46.7	53.3
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	26	24	52.0	48.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	26	53	32.9	67.1
国籍	日本国籍を【もっている】	122	47	75	38.5	61.5
	日本国籍を【もっていない】	7	5	2	71.4	28.6
博士号取得	博士号を【取得している】	85	30	55	35.3	64.7
	博士号を【取得していない】	44	22	22	50.0	50.0

(2) 昇任／昇進についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	30	99	23.3	76.7
性別	女性	66	22	44	33.3	66.7
	男性	62	8	54	12.9	87.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	12	41	22.6	77.4
	50代	29	7	22	24.1	75.9
	60代、70代以上	26	8	18	30.8	69.2
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	23	86	21.1	78.9
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	7	13	35.0	65.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11－20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	75	17	58	22.7	77.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	18	32	36.0	64.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	12	67	15.2	84.8
国籍	日本国籍を【もっている】	122	27	95	22.1	77.9
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	25	60	29.4	70.6
	博士号を【取得していない】	44	5	39	11.4	88.6

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	64	65	49.6	50.4
性別	女性	66	38	28	57.6	42.4
	男性	62	26	36	41.9	58.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	6	15	28.6	71.4
	40代	53	29	24	54.7	45.3
	50代	29	15	14	51.7	48.3
	60代、70代以上	26	14	12	53.8	46.2
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	57	52	52.3	47.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	7	13	35.0	65.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11～20年	42	19	23	45.2	54.8
	研究歴21年以上	75	41	34	54.7	45.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	29	21	58.0	42.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	35	44	44.3	55.7
国籍	日本国籍を【もっている】	122	59	63	48.4	51.6
	日本国籍を【もっていない】	7	5	2	71.4	28.6
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	43	42	50.6	49.4
	博士号を【取得していない】	44	21	23	47.7	52.3

(3) 報酬についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	18	111	14.0	86.0
性別	女性	66	11	55	16.7	83.3
	男性	62	7	55	11.3	88.7
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	8	45	15.1	84.9
	50代	29	4	25	13.8	86.2
	60代、70代以上	26	4	22	15.4	84.6
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	15	94	13.8	86.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究歴	研究歴10年以下	12	1	11	8.3	91.7
	研究歴11～20年	42	7	35	16.7	83.3
	研究歴21年以上	75	10	65	13.3	86.7
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	10	40	20.0	80.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	8	71	10.1	89.9
国籍	日本国籍を【もっている】	122	17	105	13.9	86.1
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士号取得	博士号を【取得している】	85	15	70	17.6	82.4
	博士号を【取得していない】	44	3	41	6.8	93.2

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	35	94	27.1	72.9
性別	女性	66	21	45	31.8	68.2
	男性	62	14	48	22.6	77.4
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	5	16	23.8	76.2
	40代	53	14	39	26.4	73.6
	50代	29	9	20	31.0	69.0
	60代、70代以上	26	7	19	26.9	73.1
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	30	79	27.5	72.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	5	15	25.0	75.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11～20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	75	21	54	28.0	72.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	16	34	32.0	68.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	19	60	24.1	75.9
国籍	日本国籍を【もっている】	122	31	91	25.4	74.6
	日本国籍を【もっていない】	7	4	3	57.1	42.9
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	25	60	29.4	70.6
	博士号を【取得していない】	44	10	34	22.7	77.3

(4) 授業負担についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	29	100	22.5	77.5
性別	女性	66	16	50	24.2	75.8
	男性	62	13	49	21.0	79.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	6	15	28.6	71.4
	40代	53	16	37	30.2	69.8
	50代	29	3	26	10.3	89.7
	60代、70代以上	26	4	22	15.4	84.6
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	26	83	23.9	76.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	14	28	33.3	66.7
	研究歴21年以上	75	12	63	16.0	84.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	12	38	24.0	76.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	17	62	21.5	78.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	29	93	23.8	76.2
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士号取得	博士号を【取得している】	85	21	64	24.7	75.3
	博士号を【取得していない】	44	8	36	18.2	81.8

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	55	74	42.6	57.4
性別	女性	66	29	37	43.9	56.1
	男性	62	26	36	41.9	58.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	8	13	38.1	61.9
	40代	53	23	30	43.4	56.6
	50代	29	13	16	44.8	55.2
	60代、70代以上	26	11	15	42.3	57.7
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	50	59	45.9	54.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	5	15	25.0	75.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	5	7	41.7	58.3
	研究歴11－20年	42	16	26	38.1	61.9
	研究歴21年以上	75	34	41	45.3	54.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	23	27	46.0	54.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	32	47	40.5	59.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	52	70	42.6	57.4
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	31	54	36.5	63.5
	博士号を【取得していない】	44	24	20	54.5	45.5

(5) 学内の業務分担についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	46	83	35.7	64.3
性別	女性	66	29	37	43.9	56.1
	男性	62	17	45	27.4	72.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	8	13	38.1	61.9
	40代	53	19	34	35.8	64.2
	50代	29	9	20	31.0	69.0
	60代、70代以上	26	10	16	38.5	61.5
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	40	69	36.7	63.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	6	14	30.0	70.0
研究歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11～20年	42	18	24	42.9	57.1
	研究歴21年以上	75	24	51	32.0	68.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	22	28	44.0	56.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	24	55	30.4	69.6
国籍	日本国籍を【もっている】	122	45	77	36.9	63.1
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士号取得	博士号を【取得している】	85	31	54	36.5	63.5
	博士号を【取得していない】	44	15	29	34.1	65.9

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	68	61	52.7	47.3
性別	女性	66	40	26	60.6	39.4
	男性	62	28	34	45.2	54.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	13	8	61.9	38.1
	40代	53	26	27	49.1	50.9
	50代	29	16	13	55.2	44.8
	60代、70代以上	26	13	13	50.0	50.0
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	60	49	55.0	45.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	8	12	40.0	60.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	7	5	58.3	41.7
	研究歴11－20年	42	20	22	47.6	52.4
	研究歴21年以上	75	41	34	54.7	45.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	27	23	54.0	46.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	41	38	51.9	48.1
国籍	日本国籍を【もっている】	122	65	57	53.3	46.7
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	43	42	50.6	49.4
	博士号を【取得していない】	44	25	19	56.8	43.2

(6) 研究費配分についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	13	116	10.1	89.9
性別	女性	66	9	57	13.6	86.4
	男性	62	4	58	6.5	93.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	5	48	9.4	90.6
	50代	29	3	26	10.3	89.7
	60代、70代以上	26	2	24	7.7	92.3
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	9	100	8.3	91.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	4	16	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11～20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	75	5	70	6.7	93.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	8	42	16.0	84.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	5	74	6.3	93.7
国籍	日本国籍を【もっている】	122	13	109	10.7	89.3
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	9	76	10.6	89.4
	博士号を【取得していない】	44	4	40	9.1	90.9

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	31	98	24.0	76.0
性別	女性	66	19	47	28.8	71.2
	男性	62	12	50	19.4	80.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	5	16	23.8	76.2
	40代	53	11	42	20.8	79.2
	50代	29	7	22	24.1	75.9
	60代、70代以上	26	8	18	30.8	69.2
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	25	84	22.9	77.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	6	14	30.0	70.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11～20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	75	18	57	24.0	76.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	14	36	28.0	72.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	17	62	21.5	78.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	30	92	24.6	75.4
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	20	65	23.5	76.5
	博士号を【取得していない】	44	11	33	25.0	75.0

(7) 研究業績評価での差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	17	112	13.2	86.8
性別	女性	66	13	53	19.7	80.3
	男性	62	4	58	6.5	93.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	6	47	11.3	88.7
	50代	29	5	24	17.2	82.8
	60代、70代以上	26	4	22	15.4	84.6
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	14	95	12.8	87.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	75	12	63	16.0	84.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	11	39	22.0	78.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	6	73	7.6	92.4
国籍	日本国籍を【もっている】	122	17	105	13.9	86.1
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士号取得	博士号を【取得している】	85	12	73	14.1	85.9
	博士号を【取得していない】	44	5	39	11.4	88.6

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	34	95	26.4	73.6
性別	女性	66	19	47	28.8	71.2
	男性	62	15	47	24.2	75.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	6	15	28.6	71.4
	40代	53	11	42	20.8	79.2
	50代	29	8	21	27.6	72.4
	60代、70代以上	26	9	17	34.6	65.4
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	31	78	28.4	71.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	9	33	21.4	78.6
	研究歴21年以上	75	22	53	29.3	70.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	17	33	34.0	66.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	17	62	21.5	78.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	32	90	26.2	73.8
	日本国籍を【もっていない】	7	2	5	28.6	71.4
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	24	61	28.2	71.8
	博士号を【取得していない】	44	10	34	22.7	77.3

(8) 学生による授業評価での差別的なコメントや対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	19	110	14.7	85.3
性別	女性	66	11	55	16.7	83.3
	男性	62	8	54	12.9	87.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	4	17	19.0	81.0
	40代	53	8	45	15.1	84.9
	50代	29	5	24	17.2	82.8
	60代、70代以上	26	2	24	7.7	92.3
現在の 地位 の 地	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	17	92	15.6	84.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	2	18	10.0	90.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11－20年	42	7	35	16.7	83.3
	研究歴21年以上	75	10	65	13.3	86.7
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	10	40	20.0	80.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	9	70	11.4	88.6
国籍	日本国籍を【もっている】	122	18	104	14.8	85.2
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	85	13	72	15.3	84.7
	博士号を【取得していない】	44	6	38	13.6	86.4

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	42	87	32.6	67.4
性別	女性	66	23	43	34.8	65.2
	男性	62	19	43	30.6	69.4
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	8	13	38.1	61.9
	40代	53	17	36	32.1	67.9
	50代	29	10	19	34.5	65.5
	60代、70代以上	26	7	19	26.9	73.1
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	38	71	34.9	65.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	4	16	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	18	24	42.9	57.1
	研究歴21年以上	75	21	54	28.0	72.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	17	33	34.0	66.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	25	54	31.6	68.4
国籍	日本国籍を【もっている】	122	40	82	32.8	67.2
	日本国籍を【もっていない】	7	2	5	28.6	71.4
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	31	54	36.5	63.5
	博士号を【取得していない】	44	11	33	25.0	75.0

(9) 研究テーマについての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	22	107	17.1	82.9
性別	女性	66	14	52	21.2	78.8
	男性	62	8	54	12.9	87.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	0	21	0.0	100.0
	40代	53	8	45	15.1	84.9
	50代	29	7	22	24.1	75.9
	60代、70代以上	26	7	19	26.9	73.1
現在の 地位 の 地	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	19	90	17.4	82.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	1	11	8.3	91.7
	研究歴11～20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	75	15	60	20.0	80.0
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	11	39	22.0	78.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	11	68	13.9	86.1
国籍	日本国籍を【もっている】	122	21	101	17.2	82.8
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	85	15	70	17.6	82.4
	博士号を【取得していない】	44	7	37	15.9	84.1

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	34	95	26.4	73.6
性別	女性	66	19	47	28.8	71.2
	男性	62	15	47	24.2	75.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	12	41	22.6	77.4
	50代	29	12	17	41.4	58.6
	60代、70代以上	26	7	19	26.9	73.1
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	31	78	28.4	71.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	3	17	15.0	85.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	11	31	26.2	73.8
	研究歴21年以上	75	20	55	26.7	73.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	17	33	34.0	66.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	17	62	21.5	78.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	33	89	27.0	73.0
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	21	64	24.7	75.3
	博士号を【取得していない】	44	13	31	29.5	70.5

(10) サバティカルや研修機会の提供での差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	17	112	13.2	86.8
性別	女性	66	8	58	12.1	87.9
	男性	62	9	53	14.5	85.5
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	6	47	11.3	88.7
	50代	29	5	24	17.2	82.8
	60代、70代以上	26	3	23	11.5	88.5
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	13	96	11.9	88.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	4	16	20.0	80.0
研究歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	7	35	16.7	83.3
	研究歴21年以上	75	7	68	9.3	90.7
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	8	42	16.0	84.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	9	70	11.4	88.6
国籍	日本国籍を【もっている】	122	17	105	13.9	86.1
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士号取得	博士号を【取得している】	85	13	72	15.3	84.7
	博士号を【取得していない】	44	4	40	9.1	90.9

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	30	99	23.3	76.7
性別	女性	66	17	49	25.8	74.2
	男性	62	13	49	21.0	79.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	12	41	22.6	77.4
	50代	29	10	19	34.5	65.5
	60代、70代以上	26	6	20	23.1	76.9
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	28	81	25.7	74.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	2	18	10.0	90.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	1	11	8.3	91.7
	研究歴11～20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	75	19	56	25.3	74.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	16	34	32.0	68.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	14	65	17.7	82.3
国籍	日本国籍を【もっている】	122	30	92	24.6	75.4
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	19	66	22.4	77.6
	博士号を【取得していない】	44	11	33	25.0	75.0

(11) 共同研究や研究会への参加機会についての差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	12	117	9.3	90.7
性別	女性	66	6	60	9.1	90.9
	男性	62	6	56	9.7	90.3
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	4	49	7.5	92.5
	50代	29	3	26	10.3	89.7
	60代、70代以上	26	2	24	7.7	92.3
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	10	99	9.2	90.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	2	18	10.0	90.0
研究歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	75	5	70	6.7	93.3
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	6	44	12.0	88.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	6	73	7.6	92.4
国籍	日本国籍を【もっている】	122	11	111	9.0	91.0
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士号取得	博士号を【取得している】	85	9	76	10.6	89.4
	博士号を【取得していない】	44	3	41	6.8	93.2

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		129	20	109	15.5	84.5
性 別	女性	66	10	56	15.2	84.8
	男性	62	10	52	16.1	83.9
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	8	45	15.1	84.9
	50代	29	5	24	17.2	82.8
	60代、70代以上	26	4	22	15.4	84.6
現 在 位 の 地	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	19	90	17.4	82.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	1	19	5.0	95.0
研 究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11～20年	42	7	35	16.7	83.3
	研究歴21年以上	75	11	64	14.7	85.3
況 の 介 育 状 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	11	39	22.0	78.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	9	70	11.4	88.6
国 籍	日本国籍を【もっている】	122	20	102	16.4	83.6
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	85	13	72	15.3	84.7
	博士号を【取得していない】	44	7	37	15.9	84.1

(12) 学会やシンポジウムの登壇者の選定や招聘にかかわる差別的な処遇や対応

(a) 自分自身が経験をした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	8	121	6.2	93.8
性別	女性	66	5	61	7.6	92.4
	男性	62	3	59	4.8	95.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	1	52	1.9	98.1
	50代	29	1	28	3.4	96.6
	60代、70代以上	26	4	22	15.4	84.6
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	6	103	5.5	94.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	2	18	10.0	90.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	3	39	7.1	92.9
	研究歴21年以上	75	2	73	2.7	97.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	6	44	12.0	88.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	2	77	2.5	97.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	8	114	6.6	93.4
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	6	79	7.1	92.9
	博士号を【取得していない】	44	2	42	4.5	95.5

(b) 他の人について見聞きしたりした

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	16	113	12.4	87.6
性別	女性	66	10	56	15.2	84.8
	男性	62	6	56	9.7	90.3
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	3	18	14.3	85.7
	40代	53	4	49	7.5	92.5
	50代	29	3	26	10.3	89.7
	60代、70代以上	26	6	20	23.1	76.9
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	15	94	13.8	86.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	1	19	5.0	95.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	2	10	16.7	83.3
	研究歴11～20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	75	8	67	10.7	89.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	9	41	18.0	82.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	7	72	8.9	91.1
国籍	日本国籍を【もっている】	122	16	106	13.1	86.9
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	11	74	12.9	87.1
	博士号を【取得していない】	44	5	39	11.4	88.6

13 任期の有無に関わりなく、日本の大学・研究機関等に専任スタッフとして現在勤務している方、過去に勤務していた方にお聞きします。あなたは、専任スタッフとして勤務している時に、ハラスメントに関連して、次のようなことを行ったことがありますか、それともありませんか。

(1) ハラスメントに関する委員会の委員や調査業務を担当したことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	57	72	44.2	55.8
性別	女性	66	39	27	59.1	40.9
	男性	62	18	44	29.0	71.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	4	17	19.0	81.0
	40代	53	22	31	41.5	58.5
	50代	29	15	14	51.7	48.3
	60代、70代以上	26	16	10	61.5	38.5
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	51	58	46.8	53.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	6	14	30.0	70.0
研究歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11～20年	42	10	32	23.8	76.2
	研究歴21年以上	75	44	31	58.7	41.3
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	22	28	44.0	56.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	35	44	44.3	55.7
国籍	日本国籍を【もっている】	122	54	68	44.3	55.7
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士号取得	博士号を【取得している】	85	33	52	38.8	61.2
	博士号を【取得していない】	44	24	20	54.5	45.5

(2) 学内の業務として学生相談・支援を担当したことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	89	40	69.0	31.0
性別	女性	66	48	18	72.7	27.3
	男性	62	40	22	64.5	35.5
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	21	11	10	52.4	47.6
	40代	53	37	16	69.8	30.2
	50代	29	22	7	75.9	24.1
	60代、70代以上	26	19	7	73.1	26.9
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	80	29	73.4	26.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	9	11	45.0	55.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	5	7	41.7	58.3
	研究歴11-20年	42	25	17	59.5	40.5
	研究歴21年以上	75	59	16	78.7	21.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	41	9	82.0	18.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	48	31	60.8	39.2
国籍	日本国籍を【もっている】	122	86	36	70.5	29.5
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	53	32	62.4	37.6
	博士号を【取得していない】	44	36	8	81.8	18.2

(3) インフォーマルに被害者の話を聞き、精神的に支えたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	92	37	71.3	28.7
性別	女性	66	53	13	80.3	19.7
	男性	62	38	24	61.3	38.7
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	21	11	10	52.4	47.6
	40代	53	37	16	69.8	30.2
	50代	29	26	3	89.7	10.3
	60代、70代以上	26	18	8	69.2	30.8
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	81	28	74.3	25.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	11	9	55.0	45.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	6	6	50.0	50.0
	研究歴11-20年	42	26	16	61.9	38.1
	研究歴21年以上	75	60	15	80.0	20.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	38	12	76.0	24.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	54	25	68.4	31.6
国籍	日本国籍を【もっている】	122	88	34	72.1	27.9
	日本国籍を【もっていない】	7	4	3	57.1	42.9
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	56	29	65.9	34.1
	博士号を【取得していない】	44	36	8	81.8	18.2

(4) インフォーマルに被害者の話を聞き、具体的な支援を行ったことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	63	66	48.8	51.2
性別	女性	66	33	33	50.0	50.0
	男性	62	29	33	46.8	53.2
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	21	7	14	33.3	66.7
	40代	53	21	32	39.6	60.4
	50代	29	17	12	58.6	41.4
	60代、70代以上	26	18	8	69.2	30.8
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	54	55	49.5	50.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	9	11	45.0	55.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	5	7	41.7	58.3
	研究歴11～20年	42	15	27	35.7	64.3
	研究歴21年以上	75	43	32	57.3	42.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	28	22	56.0	44.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	35	44	44.3	55.7
国籍	日本国籍を【もっている】	122	60	62	49.2	50.8
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	36	49	42.4	57.6
	博士号を【取得していない】	44	27	17	61.4	38.6

(5) 個別の事案を超えて、大学組織の改善につながる行動を起こしたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	49	80	38.0	62.0
性別	女性	66	32	34	48.5	51.5
	男性	62	17	45	27.4	72.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	5	16	23.8	76.2
	40代	53	18	35	34.0	66.0
	50代	29	15	14	51.7	48.3
	60代、70代以上	26	11	15	42.3	57.7
現在の地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	44	65	40.4	59.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	5	15	25.0	75.0
研究歴	研究歴10年以下	12	3	9	25.0	75.0
	研究歴11-20年	42	13	29	31.0	69.0
	研究歴21年以上	75	33	42	44.0	56.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	21	29	42.0	58.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	28	51	35.4	64.6
国籍	日本国籍を【もっている】	122	46	76	37.7	62.3
	日本国籍を【もっていない】	7	3	4	42.9	57.1
博士号取得	博士号を【取得している】	85	28	57	32.9	67.1
	博士号を【取得していない】	44	21	23	47.7	52.3

(6) 個別の事案を超えて、ハラスメント予防につながる勉強会や講演会を企画したことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		129	33	96	25.6	74.4
性別	女性	66	24	42	36.4	63.6
	男性	62	8	54	12.9	87.1
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	21	2	19	9.5	90.5
	40代	53	12	41	22.6	77.4
	50代	29	10	19	34.5	65.5
	60代、70代以上	26	9	17	34.6	65.4
現在の 地位 の 地	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	29	80	26.6	73.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	4	16	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	1	11	8.3	91.7
	研究歴11－20年	42	9	33	21.4	78.6
	研究歴21年以上	75	23	52	30.7	69.3
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	16	34	32.0	68.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	17	62	21.5	78.5
国籍	日本国籍を【もっている】	122	32	90	26.2	73.8
	日本国籍を【もっていない】	7	1	6	14.3	85.7
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	85	20	65	23.5	76.5
	博士号を【取得していない】	44	13	31	29.5	70.5

(7) ハラスメント防止教育を行ったことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		129	35	94	27.1	72.9
性別	女性	66	22	44	33.3	66.7
	男性	62	13	49	21.0	79.0
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	4	17	19.0	81.0
	40代	53	10	43	18.9	81.1
	50代	29	11	18	37.9	62.1
	60代、70代以上	26	10	16	38.5	61.5
現在の 地位	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	31	78	28.4	71.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	4	16	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11～20年	42	6	36	14.3	85.7
	研究歴21年以上	75	25	50	33.3	66.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	17	33	34.0	66.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	18	61	22.8	77.2
国籍	日本国籍を【もっている】	122	35	87	28.7	71.3
	日本国籍を【もっていない】	7	0	7	0.0	100.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	85	18	67	21.2	78.8
	博士号を【取得していない】	44	17	27	38.6	61.4

(8) 採用の際に、候補者のジェンダー平等や人権意識の高さを考慮している（考慮していた）。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		129	71	58	55.0	45.0
性別	女性	66	41	25	62.1	37.9
	男性	62	30	32	48.4	51.6
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	21	9	12	42.9	57.1
	40代	53	23	30	43.4	56.6
	50代	29	20	9	69.0	31.0
	60代、70代以上	26	19	7	73.1	26.9
現在の 地位 の 地	大学院生	0	0	0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	109	63	46	57.8	42.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	20	8	12	40.0	60.0
研 究 歴	研究歴10年以下	12	4	8	33.3	66.7
	研究歴11－20年	42	17	25	40.5	59.5
	研究歴21年以上	75	50	25	66.7	33.3
育 児 状 況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	50	34	16	68.0	32.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	79	37	42	46.8	53.2
国 籍	日本国籍を【もっている】	122	67	55	54.9	45.1
	日本国籍を【もっていない】	7	4	3	57.1	42.9
博 士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	85	47	38	55.3	44.7
	博士号を【取得していない】	44	24	20	54.5	45.5

14 大学院生の頃や、その後の研究者としてのキャリアのなかで、以下のことを経験したことがありますか、それともありませんか。ある場合には、直近10年未満かどうかもお答えください。

(1) 研究関連のイベントや会合で自分が排除されていると感じた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	128	18	16	82.1	11.5	10.3
性別	女性	79	65	8	9	82.3	10.1	11.4
	男性	76	62	10	7	81.6	13.2	9.2
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	23	8	0	74.2	25.8	0.0
	40代	58	50	5	5	86.2	8.6	8.6
	50代	38	34	2	3	89.5	5.3	7.9
	60代、70代以上	29	21	3	8	72.4	10.3	27.6
現在の地位	大学院生	17	16	1	0	94.1	5.9	0.0
	院生以外で任期なし	114	93	13	14	81.6	11.4	12.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	19	4	2	76.0	16.0	8.0
研究歴	研究歴10年以下	33	26	7	1	78.8	21.2	3.0
	研究歴11-20年	43	35	5	4	81.4	11.6	9.3
	研究歴21年以上	80	67	6	11	83.8	7.5	13.8
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	46	6	8	80.7	10.5	14.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	82	12	8	82.8	12.1	8.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	121	15	16	82.9	10.3	11.0
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	71	12	11	78.9	13.3	12.2
	博士号を【取得していない】	66	57	6	5	86.4	9.1	7.6

(2) 他の研究者や研究仲間に軽んじられていると感じた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	117	27	21	75.0	17.3	13.5
性別	女性	79	60	12	10	75.9	15.2	12.7
	男性	76	56	15	11	73.7	19.7	14.5
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	21	10	1	67.7	32.3	3.2
	40代	58	43	8	10	74.1	13.8	17.2
	50代	38	31	5	5	81.6	13.2	13.2
	60代、70代以上	29	22	4	5	75.9	13.8	17.2
現在の地位	大学院生	17	14	3	0	82.4	17.6	0.0
	院生以外で任期なし	114	86	17	19	75.4	14.9	16.7
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	17	7	2	68.0	28.0	8.0
研究歴	研究歴10年以下	33	25	8	0	75.8	24.2	0.0
	研究歴11～20年	43	30	9	7	69.8	20.9	16.3
	研究歴21年以上	80	62	10	14	77.5	12.5	17.5
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	38	13	11	66.7	22.8	19.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	79	14	10	79.8	14.1	10.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	110	24	21	75.3	16.4	14.4
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	65	17	14	72.2	18.9	15.6
	博士号を【取得していない】	66	52	10	7	78.8	15.2	10.6

(3) あなたの研究が同分野の他の研究者の研究より不当に低く評価されていると感じた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	129	19	13	82.7	12.2	8.3
性別	女性	79	64	10	6	81.0	12.7	7.6
	男性	76	64	9	7	84.2	11.8	9.2
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	24	7	0	77.4	22.6	0.0
	40代	58	49	5	6	84.5	8.6	10.3
	50代	38	32	4	3	84.2	10.5	7.9
	60代、70代以上	29	24	3	4	82.8	10.3	13.8
現在の地位	大学院生	17	14	3	0	82.4	17.6	0.0
	院生以外で任期なし	114	95	11	12	83.3	9.6	10.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	20	5	1	80.0	20.0	4.0
研究歴	研究歴10年以下	33	28	5	0	84.8	15.2	0.0
	研究歴11-20年	43	33	8	3	76.7	18.6	7.0
	研究歴21年以上	80	68	6	10	85.0	7.5	12.5
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	45	8	6	78.9	14.0	10.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	84	11	7	84.8	11.1	7.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	122	16	13	83.6	11.0	8.9
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	72	13	9	80.0	14.4	10.0
	博士号を【取得していない】	66	57	6	4	86.4	9.1	6.1

(4) あなたの研究方法や研究主題が同分野の他の研究者の研究方法や研究主題より不当に低く評価されていると感じた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	124	24	13	79.5	15.4	8.3
性別	女性	79	61	13	6	77.2	16.5	7.6
	男性	76	62	11	7	81.6	14.5	9.2
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	23	8	0	74.2	25.8	0.0
	40代	58	49	6	5	84.5	10.3	8.6
	50代	38	31	5	3	81.6	13.2	7.9
	60代、70代以上	29	21	5	5	72.4	17.2	17.2
現在の地位	大学院生	17	14	3	0	82.4	17.6	0.0
	院生以外で任期なし	114	91	15	12	79.8	13.2	10.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	19	6	1	76.0	24.0	4.0
研究歴	研究歴10年以下	33	27	6	0	81.8	18.2	0.0
	研究歴11～20年	43	32	9	3	74.4	20.9	7.0
	研究歴21年以上	80	65	9	10	81.3	11.3	12.5
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	42	13	5	73.7	22.8	8.8
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	82	11	8	82.8	11.1	8.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	117	21	13	80.1	14.4	8.9
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	71	14	9	78.9	15.6	10.0
	博士号を【取得していない】	66	53	10	4	80.3	15.2	6.1

(5) 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。

- ・適切とはみなせない性的なもの／性的含みをもつものを見せたり、使ったり、配ったりした。
- ・性的な言葉（冗談や下ネタを含む）で、あなたや他の誰かを嫌な気持ちにさせた。
- ・あなたの外見、身体、性行動について話し、あなたを嫌な気持ちにさせた。
- ・性的なジェスチャーやボディランゲージで、あなたを恥ずかしい気持ちにさせ、傷つけた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	124	21	16	79.5	13.5	10.3
性別	女性	79	60	10	11	75.9	12.7	13.9
	男性	76	63	11	5	82.9	14.5	6.6
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	20	11	1	64.5	35.5	3.2
	40代	58	48	7	5	82.8	12.1	8.6
	50代	38	32	2	5	84.2	5.3	13.2
	60代、70代以上	29	24	1	5	82.8	3.4	17.2
現在の地位	大学院生	17	13	4	0	76.5	23.5	0.0
	院生以外で任期なし	114	90	15	14	78.9	13.2	12.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	21	2	2	84.0	8.0	8.0
研究歴	研究歴10年以下	33	23	10	1	69.7	30.3	3.0
	研究歴11－20年	43	35	5	5	81.4	11.6	11.6
	研究歴21年以上	80	66	6	10	82.5	7.5	12.5
状況 の介育 状護児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	45	5	9	78.9	8.8	15.8
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	79	16	7	79.8	16.2	7.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	117	18	16	80.1	12.3	11.0
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
得号博 取士	博士号を【取得している】	90	72	11	10	80.0	12.2	11.1
	博士号を【取得していない】	66	52	10	6	78.8	15.2	9.1

(6) あなたがその気がないことをわからせようとしたにも関わらず、他の研究者や研究仲間が、デート、恋愛、性的な関係を求めてきた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	134	11	17	85.9	7.1	10.9
性別	女性	79	60	8	16	75.9	10.1	20.3
	男性	76	73	3	1	96.1	3.9	1.3
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	25	5	3	80.6	16.1	9.7
	40代	58	51	2	6	87.9	3.4	10.3
	50代	38	34	3	3	89.5	7.9	7.9
	60代、70代以上	29	24	1	5	82.8	3.4	17.2
現在の地位	大学院生	17	16	1	0	94.1	5.9	0.0
	院生以外で任期なし	114	95	8	15	83.3	7.0	13.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	23	2	2	92.0	8.0	8.0
研究歴	研究歴10年以下	33	30	3	0	90.9	9.1	0.0
	研究歴11-20年	43	37	4	5	86.0	9.3	11.6
	研究歴21年以上	80	67	4	12	83.8	5.0	15.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	47	2	9	82.5	3.5	15.8
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	87	9	8	87.9	9.1	8.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	126	9	16	86.3	6.2	11.0
	日本国籍を【もっていない】	10	8	2	1	80.0	20.0	10.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	73	7	14	81.1	7.8	15.6
	博士号を【取得していない】	66	61	4	3	92.4	6.1	4.5

(7) 他の研究者や研究仲間からの恋愛的・性的対象の求めにあなたが応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	150	1	6	96.2	0.6	3.8
性別	女性	79	73	1	6	92.4	1.3	7.6
	男性	76	76	0	0	100.0	0.0	0.0
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	30	1	1	96.8	3.2	3.2
	40代	58	55	0	3	94.8	0.0	5.2
	50代	38	36	0	2	94.7	0.0	5.3
	60代、70代以上	29	29	0	0	100.0	0.0	0.0
現在の地位	大学院生	17	17	0	0	100.0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	114	109	0	5	95.6	0.0	4.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	24	1	1	96.0	4.0	4.0
研究歴	研究歴10年以下	33	33	0	0	100.0	0.0	0.0
	研究歴11-20年	43	41	1	2	95.3	2.3	4.7
	研究歴21年以上	80	76	0	4	95.0	0.0	5.0
育児状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	55	0	2	96.5	0.0	3.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	95	1	4	96.0	1.0	4.0
国籍	日本国籍を【もっている】	146	140	1	6	95.9	0.7	4.1
	日本国籍を【もっていない】	10	10	0	0	100.0	0.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	86	1	4	95.6	1.1	4.4
	博士号を【取得していない】	66	64	0	2	97.0	0.0	3.0

(8) 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。

- ・遠くからあなたを見つめたり、追いかけてきた。
- ・あなたが望まないのに職場、教室、ミーティングルームの外で何度もあなたを待っていた。
- ・あなたを監視していた。
- ・あなたが望まないのに、電話や留守番電話のメッセージを残したり、メールを送ったり、SNSでメッセージを書き込んだり、カード、手紙、花、プレゼントを贈った。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	137	8	13	87.8	5.1	8.3
性別	女性	79	63	6	12	79.7	7.6	15.2
	男性	76	73	2	1	96.1	2.6	1.3
	どちらでもない/わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	27	3	2	87.1	9.7	6.5
	40代	58	50	3	6	86.2	5.2	10.3
	50代	38	35	1	2	92.1	2.6	5.3
	60代、70代以上	29	25	1	3	86.2	3.4	10.3
現在の地位	大学院生	17	16	1	0	94.1	5.9	0.0
	院生以外で任期なし	114	98	5	12	86.0	4.4	10.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	23	2	1	92.0	8.0	4.0
研究歴	研究歴10年以下	33	31	2	0	93.9	6.1	0.0
	研究歴11-20年	43	37	4	4	86.0	9.3	9.3
	研究歴21年以上	80	69	2	9	86.3	2.5	11.3
状況 の 介育 状護 児	育児/介護の担い手で【ある/あった】	57	51	2	5	89.5	3.5	8.8
	育児/介護の担い手で【あったことがない】	99	86	6	8	86.9	6.1	8.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	128	7	13	87.7	4.8	8.9
	日本国籍を【もっていない】	10	9	1	0	90.0	10.0	0.0
得 号博 取士	博士号を【取得している】	90	76	7	9	84.4	7.8	10.0
	博士号を【取得していない】	66	61	1	4	92.4	1.5	6.1

(9) 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。

- ・あなたを撫でようとしたり キスしようとしたり、身体の性的な場所を触ろうとした。
- ・あなたの同意なしに服を脱がそうとした。
- ・あなたの同意なしにペニス、指、モノをあなたの膣や肛門に入れようとした。
- ・あなたの同意なしにオーラルセックスをしようとした。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		152	141	3	8	92.8	2.0	5.3
性別	女性	77	66	3	8	85.7	3.9	10.4
	男性	74	74	0	0	100.0	0.0	0.0
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	31	0	0	100.0	0.0	0.0
	40代	55	50	1	4	90.9	1.8	7.3
	50代	38	34	2	2	89.5	5.3	5.3
	60代、70代以上	28	26	0	2	92.9	0.0	7.1
現在の地位	大学院生	17	17	0	0	100.0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	111	101	3	7	91.0	2.7	6.3
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	24	23	0	1	95.8	0.0	4.2
研究歴	研究歴10年以下	33	33	0	0	100.0	0.0	0.0
	研究歴11-20年	41	38	1	2	92.7	2.4	4.9
	研究歴21年以上	78	70	2	6	89.7	2.6	7.7
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	55	51	1	3	92.7	1.8	5.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	97	90	2	5	92.8	2.1	5.2
国籍	日本国籍を【もっている】	143	134	1	8	93.7	0.7	5.6
	日本国籍を【もっていない】	9	7	2	0	77.8	22.2	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	87	79	2	6	90.8	2.3	6.9
	博士号を【取得していない】	65	62	1	2	95.4	1.5	3.1

(10) 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。

- ・あなたを撫でたり、キスしたり、身体の性的な場所を触った。
- ・あなたの同意なしに服を脱がせた。
- ・あなたの同意なしにペニス、指、モノをあなたの膣や肛門に入れた。
- ・あなたの同意なしにオーラルセックスをした。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		151	140	5	6	92.7	3.3	4.0
性別	女性	76	67	4	5	88.2	5.3	6.6
	男性	74	72	1	1	97.3	1.4	1.4
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	29	1	1	93.5	3.2	3.2
	40代	55	50	1	4	90.9	1.8	7.3
	50代	38	35	2	1	92.1	5.3	2.6
	60代、70代以上	27	26	1	0	96.3	3.7	0.0
現在の地位	大学院生	17	17	0	0	100.0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	110	100	4	6	90.9	3.6	5.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	24	23	1	0	95.8	4.2	0.0
研究歴	研究歴10年以下	33	33	0	0	100.0	0.0	0.0
	研究歴11-20年	41	36	3	2	87.8	7.3	4.9
	研究歴21年以上	77	71	2	4	92.2	2.6	5.2
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	54	50	2	2	92.6	3.7	3.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	97	90	3	4	92.8	3.1	4.1
国籍	日本国籍を【もっている】	142	133	3	6	93.7	2.1	4.2
	日本国籍を【もっていない】	9	7	2	0	77.8	22.2	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	86	78	4	4	90.7	4.7	4.7
	博士号を【取得していない】	65	62	1	2	95.4	1.5	3.1

(11) 他の研究者や研究仲間が、⑩でリストされたもの以外の方法で、あなたを触り嫌な気持ちにさせた。

		該当数	ない	10年未満	10年以上前	ない(%)	10年未満(%)	10年以上前(%)
全体		156	141	8	9	90.4	5.1	5.8
性別	女性	79	67	5	7	84.8	6.3	8.9
	男性	76	73	3	2	96.1	3.9	2.6
	どちらでもない／わからない	1	1	0	0	100.0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	29	2	1	93.5	6.5	3.2
	40代	58	49	4	6	84.5	6.9	10.3
	50代	38	34	2	2	89.5	5.3	5.3
	60代、70代以上	29	29	0	0	100.0	0.0	0.0
現在の地位	大学院生	17	17	0	0	100.0	0.0	0.0
	院生以外で任期なし	114	101	6	8	88.6	5.3	7.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	23	2	1	92.0	8.0	4.0
研究歴	研究歴10年以下	33	31	2	1	93.9	6.1	3.0
	研究歴11～20年	43	39	4	1	90.7	9.3	2.3
	研究歴21年以上	80	71	2	7	88.8	2.5	8.8
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	53	1	3	93.0	1.8	5.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	88	7	6	88.9	7.1	6.1
国籍	日本国籍を【もっている】	146	134	5	9	91.8	3.4	6.2
	日本国籍を【もっていない】	10	7	3	0	70.0	30.0	0.0
博士号取得	博士号を【取得している】	90	80	6	6	88.9	6.7	6.7
	博士号を【取得していない】	66	61	2	3	92.4	3.0	4.5

15 問 14 で1つでもあると回答した方にお聞きします。問 14 の経験は、あなたにどのような影響を与えましたか。

(1) 所属先で正式に苦情を訴えた。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全 体		69	11	58	15.9	84.1
性別	女性	39	6	33	15.4	84.6
	男性	30	5	25	16.7	83.3
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	2	16	11.1	88.9
	40代	24	4	20	16.7	83.3
	50代	14	1	13	7.1	92.9
	60代、70代以上	13	4	9	30.8	69.2
現在の 地位 の 地	大学院生	7	1	6	14.3	85.7
	院生以外で任期なし	52	7	45	13.5	86.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	3	7	30.0	70.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	3	13	18.8	81.3
	研究歴11－20年	18	1	17	5.6	94.4
	研究歴21年以上	35	7	28	20.0	80.0
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	6	21	22.2	77.8
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	5	37	11.9	88.1
国籍	日本国籍を【もっている】	63	11	52	17.5	82.5
	日本国籍を【もっていない】	6	0	6	0.0	100.0
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	41	9	32	22.0	78.0
	博士号を【取得していない】	28	2	26	7.1	92.9

(2) 関係政府機関（例えば、警察や労働局）に正式に訴えた。

		該当数	はい	いいえ	はい（％）	いいえ（％）
全体		69	0	69	0.0	100.0
性別	女性	39	0	39	0.0	100.0
	男性	30	0	30	0.0	100.0
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	0	18	0.0	100.0
	40代	24	0	24	0.0	100.0
	50代	14	0	14	0.0	100.0
	60代、70代以上	13	0	13	0.0	100.0
現在の地位	大学院生	7	0	7	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	52	0	52	0.0	100.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	0	10	0.0	100.0
研究歴	研究歴10年以下	16	0	16	0.0	100.0
	研究歴11－20年	18	0	18	0.0	100.0
	研究歴21年以上	35	0	35	0.0	100.0
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	0	27	0.0	100.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	0	42	0.0	100.0
国籍	日本国籍を【もっている】	63	0	63	0.0	100.0
	日本国籍を【もっていない】	6	0	6	0.0	100.0
博士号取得	博士号を【取得している】	41	0	41	0.0	100.0
	博士号を【取得していない】	28	0	28	0.0	100.0

(3) 研究プロジェクト、委員会、関連プログラム、関連の仕事を辞めようかと思った。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	24	45	34.8	65.2
性別	女性	39	17	22	43.6	56.4
	男性	30	7	23	23.3	76.7
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	6	12	33.3	66.7
	40代	24	8	16	33.3	66.7
	50代	14	7	7	50.0	50.0
	60代、70代以上	13	3	10	23.1	76.9
現在の 地位	大学院生	7	1	6	14.3	85.7
	院生以外で任期なし	52	19	33	36.5	63.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	4	6	40.0	60.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	4	12	25.0	75.0
	研究歴11-20年	18	7	11	38.9	61.1
	研究歴21年以上	35	13	22	37.1	62.9
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	11	16	40.7	59.3
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	13	29	31.0	69.0
国籍	日本国籍を【もっている】	63	21	42	33.3	66.7
	日本国籍を【もっていない】	6	3	3	50.0	50.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	18	23	43.9	56.1
	博士号を【取得していない】	28	6	22	21.4	78.6

(4) 自分の仕事の生産性や効率性が落ちた。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	38	31	55.1	44.9
性別	女性	39	21	18	53.8	46.2
	男性	30	17	13	56.7	43.3
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	13	5	72.2	27.8
	40代	24	14	10	58.3	41.7
	50代	14	8	6	57.1	42.9
	60代、70代以上	13	3	10	23.1	76.9
現在の 地位	大学院生	7	3	4	42.9	57.1
	院生以外で任期なし	52	28	24	53.8	46.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	7	3	70.0	30.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	9	7	56.3	43.8
	研究歴11-20年	18	12	6	66.7	33.3
	研究歴21年以上	35	17	18	48.6	51.4
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	15	12	55.6	44.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	23	19	54.8	45.2
国籍	日本国籍を【もっている】	63	33	30	52.4	47.6
	日本国籍を【もっていない】	6	5	1	83.3	16.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	27	14	65.9	34.1
	博士号を【取得していない】	28	11	17	39.3	60.7

(5) その時のポジションを離れようかと思った。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	21	48	30.4	69.6
性別	女性	39	14	25	35.9	64.1
	男性	30	7	23	23.3	76.7
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	6	12	33.3	66.7
	40代	24	8	16	33.3	66.7
	50代	14	5	9	35.7	64.3
	60代、70代以上	13	2	11	15.4	84.6
現在の 地位	大学院生	7	1	6	14.3	85.7
	院生以外で任期なし	52	14	38	26.9	73.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	6	4	60.0	40.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	5	11	31.3	68.8
	研究歴11-20年	18	7	11	38.9	61.1
	研究歴21年以上	35	9	26	25.7	74.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	9	18	33.3	66.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	12	30	28.6	71.4
国籍	日本国籍を【もっている】	63	18	45	28.6	71.4
	日本国籍を【もっていない】	6	3	3	50.0	50.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	15	26	36.6	63.4
	博士号を【取得していない】	28	6	22	21.4	78.6

(6) 休職、病気休暇の取得、不本意な欠勤などにより、仕事から離れた。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	8	61	11.6	88.4
性別	女性	39	5	34	12.8	87.2
	男性	30	3	27	10.0	90.0
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	3	15	16.7	83.3
	40代	24	2	22	8.3	91.7
	50代	14	2	12	14.3	85.7
	60代、70代以上	13	1	12	7.7	92.3
現在の地位	大学院生	7	2	5	28.6	71.4
	院生以外で任期なし	52	5	47	9.6	90.4
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	1	9	10.0	90.0
研究歴	研究歴10年以下	16	4	12	25.0	75.0
	研究歴11～20年	18	0	18	0.0	100.0
	研究歴21年以上	35	4	31	11.4	88.6
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	3	24	11.1	88.9
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	5	37	11.9	88.1
国籍	日本国籍を【もっている】	63	7	56	11.1	88.9
	日本国籍を【もっていない】	6	1	5	16.7	83.3
博士号取得	博士号を【取得している】	41	5	36	12.2	87.8
	博士号を【取得していない】	28	3	25	10.7	89.3

(7) これからは、学会や会議に出ないでおこうかと思った。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	30	39	43.5	56.5
性別	女性	39	22	17	56.4	43.6
	男性	30	8	22	26.7	73.3
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	12	6	66.7	33.3
	40代	24	9	15	37.5	62.5
	50代	14	6	8	42.9	57.1
	60代、70代以上	13	3	10	23.1	76.9
現在の 地位	大学院生	7	3	4	42.9	57.1
	院生以外で任期なし	52	21	31	40.4	59.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	6	4	60.0	40.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	9	7	56.3	43.8
	研究歴11-20年	18	10	8	55.6	44.4
	研究歴21年以上	35	11	24	31.4	68.6
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	12	15	44.4	55.6
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	18	24	42.9	57.1
国籍	日本国籍を【もっている】	63	25	38	39.7	60.3
	日本国籍を【もっていない】	6	5	1	83.3	16.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	21	20	51.2	48.8
	博士号を【取得していない】	28	9	19	32.1	67.9

(8) 研究分野を変えようかと思った。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	13	56	18.8	81.2
性別	女性	39	8	31	20.5	79.5
	男性	30	5	25	16.7	83.3
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	5	13	27.8	72.2
	40代	24	7	17	29.2	70.8
	50代	14	1	13	7.1	92.9
	60代、70代以上	13	0	13	0.0	100.0
現在の 地位	大学院生	7	2	5	28.6	71.4
	院生以外で任期なし	52	8	44	15.4	84.6
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	3	7	30.0	70.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	4	12	25.0	75.0
	研究歴11-20年	18	4	14	22.2	77.8
	研究歴21年以上	35	5	30	14.3	85.7
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	5	22	18.5	81.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	8	34	19.0	81.0
国籍	日本国籍を【もっている】	63	11	52	17.5	82.5
	日本国籍を【もっていない】	6	2	4	33.3	66.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	8	33	19.5	80.5
	博士号を【取得していない】	28	5	23	17.9	82.1

(9) 研究者を辞めようかと思った。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	12	57	17.4	82.6
性別	女性	39	8	31	20.5	79.5
	男性	30	4	26	13.3	86.7
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	6	12	33.3	66.7
	40代	24	5	19	20.8	79.2
	50代	14	1	13	7.1	92.9
	60代、70代以上	13	0	13	0.0	100.0
現在の 地位	大学院生	7	2	5	28.6	71.4
	院生以外で任期なし	52	6	46	11.5	88.5
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	4	6	40.0	60.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	4	12	25.0	75.0
	研究歴11～20年	18	6	12	33.3	66.7
	研究歴21年以上	35	2	33	5.7	94.3
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	5	22	18.5	81.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	7	35	16.7	83.3
国籍	日本国籍を【もっている】	63	10	53	15.9	84.1
	日本国籍を【もっていない】	6	2	4	33.3	66.7
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	7	34	17.1	82.9
	博士号を【取得していない】	28	5	23	17.9	82.1

(10) 法的措置をとることを検討した。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	6	63	8.7	91.3
性別	女性	39	2	37	5.1	94.9
	男性	30	4	26	13.3	86.7
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	1	17	5.6	94.4
	40代	24	4	20	16.7	83.3
	50代	14	0	14	0.0	100.0
	60代、70代以上	13	1	12	7.7	92.3
現在の地位	大学院生	7	0	7	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	52	2	50	3.8	96.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	4	6	40.0	60.0
研究歴	研究歴10年以下	16	2	14	12.5	87.5
	研究歴11-20年	18	2	16	11.1	88.9
	研究歴21年以上	35	2	33	5.7	94.3
育児・介護状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	2	25	7.4	92.6
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	4	38	9.5	90.5
国籍	日本国籍を【もっている】	63	4	59	6.3	93.7
	日本国籍を【もっていない】	6	2	4	33.3	66.7
博士号取得	博士号を【取得している】	41	6	35	14.6	85.4
	博士号を【取得していない】	28	0	28	0.0	100.0

(11) あたかも何も起こらなかったかのように無理にふるまった。

		該当数	はい	いいえ	はい (%)	いいえ (%)
全体		69	36	33	52.2	47.8
性別	女性	39	22	17	56.4	43.6
	男性	30	14	16	46.7	53.3
	どちらでもない／わからない	0	0	0	0.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	18	9	9	50.0	50.0
	40代	24	15	9	62.5	37.5
	50代	14	7	7	50.0	50.0
	60代、70代以上	13	5	8	38.5	61.5
現在の 地位	大学院生	7	2	5	28.6	71.4
	院生以外で任期なし	52	27	25	51.9	48.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	10	7	3	70.0	30.0
研究 歴	研究歴10年以下	16	8	8	50.0	50.0
	研究歴11～20年	18	11	7	61.1	38.9
	研究歴21年以上	35	17	18	48.6	51.4
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	27	15	12	55.6	44.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	42	21	21	50.0	50.0
国籍	日本国籍を【もっている】	63	32	31	50.8	49.2
	日本国籍を【もっていない】	6	4	2	66.7	33.3
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	41	25	16	61.0	39.0
	博士号を【取得していない】	28	11	17	39.3	60.7

16 全員に伺います。あなたは、大学院生の頃や、その後の研究者としてのキャリアのなかで、次のようなことを経験したことがありますか。

(1) 研究上の上下関係の中で、望んでいないのに、飲み会に繰り返し参加させられる。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	23	133	14.7	85.3
性 別	女性	79	11	68	13.9	86.1
	男性	76	12	64	15.8	84.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年 齢	10代、20代、30代	31	5	26	16.1	83.9
	40代	58	8	50	13.8	86.2
	50代	38	4	34	10.5	89.5
	60代、70代以上	29	6	23	20.7	79.3
現 在 の 地	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	114	16	98	14.0	86.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	6	19	24.0	76.0
研 究 歴	研究歴10年以下	33	5	28	15.2	84.8
	研究歴11－20年	43	10	33	23.3	76.7
	研究歴21年以上	80	8	72	10.0	90.0
況 の 介 育 状 護 児	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	10	47	17.5	82.5
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	13	86	13.1	86.9
国 籍	日本国籍を【もっている】	146	21	125	14.4	85.6
	日本国籍を【もっていない】	10	2	8	20.0	80.0
得 号 博 取 士	博士号を【取得している】	90	17	73	18.9	81.1
	博士号を【取得していない】	66	6	60	9.1	90.9

(2) 指導教員や先輩、研究仲間の意に反さないよう、就職先や転職先、学位取得時期、昇進時期、研究テーマ、研究仲間の選択などについて配慮をしたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	28	128	17.9	82.1
性別	女性	79	18	61	22.8	77.2
	男性	76	10	66	13.2	86.8
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	7	24	22.6	77.4
	40代	58	10	48	17.2	82.8
	50代	38	5	33	13.2	86.8
	60代、70代以上	29	6	23	20.7	79.3
現在の 地位 の 地	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	114	18	96	15.8	84.2
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	7	18	28.0	72.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	10	23	30.3	69.7
	研究歴11－20年	43	10	33	23.3	76.7
	研究歴21年以上	80	8	72	10.0	90.0
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	14	43	24.6	75.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	14	85	14.1	85.9
国 籍	日本国籍を【もっている】	146	24	122	16.4	83.6
	日本国籍を【もっていない】	10	4	6	40.0	60.0
博 士 号 取 得	博士号を【取得している】	90	18	72	20.0	80.0
	博士号を【取得していない】	66	10	56	15.2	84.8

(3) 指導教員や先輩、研究仲間からの求め（恋愛的・性的対象以外）に応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせられる経験をした。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全体		156	14	142	9.0	91.0
性別	女性	79	8	71	10.1	89.9
	男性	76	6	70	7.9	92.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	2	29	6.5	93.5
	40代	58	8	50	13.8	86.2
	50代	38	2	36	5.3	94.7
	60代、70代以上	29	2	27	6.9	93.1
現在の 地位	大学院生	17	2	15	11.8	88.2
	院生以外で任期なし	114	9	105	7.9	92.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	3	22	12.0	88.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	3	30	9.1	90.9
	研究歴11～20年	43	5	38	11.6	88.4
	研究歴21年以上	80	6	74	7.5	92.5
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	4	53	7.0	93.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	10	89	10.1	89.9
国籍	日本国籍を【もっている】	146	13	133	8.9	91.1
	日本国籍を【もっていない】	10	1	9	10.0	90.0
博士 号得 取士	博士号を【取得している】	90	9	81	10.0	90.0
	博士号を【取得していない】	66	5	61	7.6	92.4

(4) 自分の研究に対して、c cメール、メーリングリスト、ブログ、SNS など他の人にも知らせる形で不当な攻撃を受けたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	11	145	7.1	92.9
性別	女性	79	5	74	6.3	93.7
	男性	76	6	70	7.9	92.1
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	3	28	9.7	90.3
	40代	58	2	56	3.4	96.6
	50代	38	3	35	7.9	92.1
	60代、70代以上	29	3	26	10.3	89.7
現在の 地位 の 地	大学院生	17	0	17	0.0	100.0
	院生以外で任期なし	114	9	105	7.9	92.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	2	23	8.0	92.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	3	30	9.1	90.9
	研究歴11－20年	43	4	39	9.3	90.7
	研究歴21年以上	80	4	76	5.0	95.0
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	3	54	5.3	94.7
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	8	91	8.1	91.9
国籍	日本国籍を【もっている】	146	8	138	5.5	94.5
	日本国籍を【もっていない】	10	3	7	30.0	70.0
博士 号 取 得	博士号を【取得している】	90	7	83	7.8	92.2
	博士号を【取得していない】	66	4	62	6.1	93.9

(5) 自分の研究に対して、望んでいないのに、指導や助言と称して執拗に連絡がきたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	14	142	9.0	91.0
性別	女性	79	9	70	11.4	88.6
	男性	76	5	71	6.6	93.4
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	5	26	16.1	83.9
	40代	58	6	52	10.3	89.7
	50代	38	2	36	5.3	94.7
	60代、70代以上	29	1	28	3.4	96.6
現在の 地位 の 地	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	114	9	105	7.9	92.1
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	4	21	16.0	84.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	3	30	9.1	90.9
	研究歴11－20年	43	5	38	11.6	88.4
	研究歴21年以上	80	6	74	7.5	92.5
育児 状況 の 介 護	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	4	53	7.0	93.0
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	10	89	10.1	89.9
国籍	日本国籍を【もっている】	146	10	136	6.8	93.2
	日本国籍を【もっていない】	10	4	6	40.0	60.0
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	90	9	81	10.0	90.0
	博士号を【取得していない】	66	5	61	7.6	92.4

(6) 自分の研究に対する書評やコメントで、人格攻撃のように思われる不当な評価を受けたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	22	134	14.1	85.9
性別	女性	79	10	69	12.7	87.3
	男性	76	12	64	15.8	84.2
	どちらでもない／わからない	1	0	1	0.0	100.0
年齢	10代、20代、30代	31	5	26	16.1	83.9
	40代	58	9	49	15.5	84.5
	50代	38	5	33	13.2	86.8
	60代、70代以上	29	3	26	10.3	89.7
現在の 地位 の 地	大学院生	17	1	16	5.9	94.1
	院生以外で任期なし	114	16	98	14.0	86.0
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	5	20	20.0	80.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	6	27	18.2	81.8
	研究歴11－20年	43	8	35	18.6	81.4
	研究歴21年以上	80	8	72	10.0	90.0
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	12	45	21.1	78.9
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	10	89	10.1	89.9
国籍	日本国籍を【もっている】	146	18	128	12.3	87.7
	日本国籍を【もっていない】	10	4	6	40.0	60.0
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	90	12	78	13.3	86.7
	博士号を【取得していない】	66	10	56	15.2	84.8

(7) 他の研究者が外見や容姿によって評価されていることを見聞きして、不快な思いをしたことがある。

		該当数	ある	ない	ある (%)	ない (%)
全 体		156	41	115	26.3	73.7
性別	女性	79	26	53	32.9	67.1
	男性	76	14	62	18.4	81.6
	どちらでもない／わからない	1	1	0	100.0	0.0
年齢	10代、20代、30代	31	11	20	35.5	64.5
	40代	58	15	43	25.9	74.1
	50代	38	7	31	18.4	81.6
	60代、70代以上	29	8	21	27.6	72.4
現在の 地位 の 地	大学院生	17	3	14	17.6	82.4
	院生以外で任期なし	114	31	83	27.2	72.8
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	25	7	18	28.0	72.0
研究 歴	研究歴10年以下	33	8	25	24.2	75.8
	研究歴11－20年	43	15	28	34.9	65.1
	研究歴21年以上	80	18	62	22.5	77.5
育児 状況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	57	18	39	31.6	68.4
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	99	23	76	23.2	76.8
国籍	日本国籍を【もっている】	146	37	109	25.3	74.7
	日本国籍を【もっていない】	10	4	6	40.0	60.0
博士 号 得 取 士	博士号を【取得している】	90	26	64	28.9	71.1
	博士号を【取得していない】	66	15	51	22.7	77.3

自由記述

- ・アカデミズムは男性中心主義的で息ができないので、こうした調査が生かされればよいと思う。
- ・貴重なお取り組みに感謝します。ジェンダーに関わる課題は難しく、女性が同性の同僚に対して「女性だから」という理由で男性に対するのとは異なる対応をしている様子も見聞したことがあります。男女ともに、意識のブラッシュ・アップが必要だと感じています。
- ・大学におけるハラスメント委員会の設置状況、その機能状況、ハラスメントに関しての大学の処分方針、処分事例などについての質問もあるとよかった。
- ・自身の体験の有無を多数質問されているが、非該当が多く、想定サンプルにジェンダーバイアスがかかっていないか、検討希望します。
- ・大事なことだと思います。
- ・研究仲間ではありませんが、「美人だ」などと講演のとき紹介されて戸惑ったことはあります。また指導教官ではありませんが、研究の代表者が、ハラスメント（意見を聞かない）をしてつらかったことはあります（10年未満）←これは回答できるところがなかったように思います。また、研究仲間のひとりが妬みによる嫌味を言ってきて閉口したことが10年以上前にありましたが、同席の人がすかさず止めてくれたので大変助かりました。アカハラとセクハラを分けて質問項目を立てたほうが、そしてアカハラは指導教官以外にもするので、そういう「限定された」質問の仕方だと漏れるものもあるかな、と回答していたと思います。とはいえ、このような調査は非常に意義深いものであり、ありがたく思います。
- ・以前よりセクハラやパワハラは減ったように思います。しかし、人事委員会の雑談で業績より美人だからとか人柄がよい、とか、きれいどころを並べるといような不快な表現は結構あり、そのたびに反吐がでるような思いになります。そういう発言をする男性教員の背中を蹴りたい衝動に駆られ、押さえるのに大変です。学内の重要なポストなども結構きれいで学長のお気に入りの女性教授が実力もたいしてないのに採用されたりするのを見るとばかばかしいと思います。最近は女性は常に大学のなかで弱者であり、また弱者の立場を代弁するところにいましたが、最近は権力に擦り寄って出世しようという女性教員も増え、時代の変化を感じます。若手の男性教員のほうがずっとリベラルであるように思うこともあり、そういう若手の男性教員にはセクハラパワハラ撲滅のため、がんばってほしいです。
- ・セクシャルハラスメントのものが中心で、もう少しアカデミックハラスメントの内容があってもよいという気がします
- ・うわさで聞いたことがあるが、実際に証拠を見たわけではないケースについて、どう答えるべきか悩んだ。いちおう「聞いたことがある」ので「はい」とした。
- ・他人のホモフォビックな言動などで不快な気持ちになる事も多いので、その点についても調査項目があっても良かったのではないかと感じます。

- ・質問内容が、一見具体的な項目のように読み取れるが、回答者個々のイメージに寄与する内容が多く感じられた。質問項目の表現の難しさを感じる。
- ・わたくし（ども）の研究が軽んじられていると感じるのは事実ですが、今の学界（特にアメリカ）自体の知的水準が凋落しているので、戦う場は法廷でも関係窓口でもなく、学術発表という形で争わないと仕方ないと思っています。
- ・日本の大学・大学院の状況を知るのに有用な調査であると思う。
- ・調査結果を広く共有して頂きたい。
- ・研究上の関係だけではなく、職場の上下関係（管理職と非管理職、ベテランと非ベテランなど）も研究環境に影響を及ぼすように思います。
- ・所属しているところが、研究分野が様々なので、研究に絞るとないが多いのですが、研究とは直接関係のない職場内の事務的な仕事などの関係で攻撃されたり、無視されたり、メールを送られなかったり、わざわざ送られたり、怒鳴られたり、恫喝されたりということが度々ありました。回答させていただき、研究に関してはそのようなことが起こっていないということはむしろありがたいことだと思いました。
- ・社会政策学会だけでなく、その他の学会でも（各ディシプリンの代表的学会などの主要なところで構わないので）、調査してください。本調査は、日本の学术界にとって必要なものだと思います。調査・研究が進むことを願っています。
- ・調査結果の解釈の際には、今回の調査対象者には最悪の経験をした人たちは含まれていない可能性があることに留意が必要だと思います。私のかつての研究仲間の中にも、大学院生や研究職初期キャリアの時期にハラスメントを受け、優れた業績を積んでいたにも関わらず研究職以外に転職した人や、何年後かに命を絶った人が複数います。そういった人たちの回答は得られません。
- ・それぞれの経験はそれぞれ違う人間から受けたもので、幸いその指導教官、そのプロジェクトリーダーからは離れておりますことをご承知おき下さい。人生を脅かすレベルでやってきたのは3人で、内2人は残念ながら社会政策学会の会員です。
- ・「ない」という回答が圧倒的に多く、それはもしかして自分が加害者側だからなのではないか…という気がしてきました。研究者として若いころ、密室1対1状況で、権限と権威を取り違えた役職教員に、理不尽で恫喝的なことを言われたことがあります。ただその時は、ハラスメントだとは認識できませんでした。「同僚には相談しにくい」と言って、ハラスメント問題に対応しようとしている友人からの相談を、幾人からか、受けたことがあります。こうした組織外のインフォーマルネットワークの機能は重要なのかもしれません。限られた経験と見聞からですが、男性教員のほうが圧倒的に、ハラスメント問題に鈍感だと思います。教員から事務方への理不尽なふるまいも問題だと思います。
- ・なにか、選択肢が限定的に感じられて答えにくい感じがします。調査の趣旨にもよるのですが、調査に関する以外に被害と感ずることについても自由記述欄があったほうがいいのでは。

- ・意義あるものだと考えます。
- ・現在職場でオフィシャルな権力や職場での人間関係というインフォーマルなかたちで様々なハラスメントを受けており、それによって、何人もの教員が退職に追い込まれています。上層部はハラスメントをしている人間を擁護し、ハラスメントされている人間を問題視し、攻撃しております。そして、その環境は陰湿化・悪化の傾向がみられます。また、大学院時代における指導教員の理不尽な対応による影響はまだ残っております。指導教員をかえて対応はしましたが、理不尽な対応は後々に影響を与えます。また学会での研究環境の風通しをよくできないのでしょうか。特定のテーマ・研究方法・人物で動いていると思います。現在の研究環境は特定の人間を優遇し、その仲間だけがいい思いをして、気に入らない人間は排除するという状況になっているのではないかと思います。
- ・貴重な調査をありがとうございます。依頼を受けた重要な社会活動や学会活動について、職場（上司）の承認が得られなかったり、その仕事を承認しなかったはずの上司が本人に代わってその仕事を受けたりして、とてもしんどい思いをしています。同僚も同様状況で困っていました。今回の調査では、こうした状況の設問がありませんでしたが、切実な問題だと考えています。
- ・この調査をきっかけに少しでもアカデミアの領域での権力構造を認識してもらいたいと思いました。アカデミックハラスメントは研究者のキャリアを狂わせます。人格・尊厳を傷つけます。心身の不調を抱えながらすでに何年も過ぎました。加害者が権威として地位を確立している場合は、周囲も追随してかばいます。またその権威や立場が重要なので院生にひどいことをしていてもそれはそれということです。果ては抗議した被害者側がそういうことを言い立てるおかしな人であって、「加害者こそが被害者だ」という雰囲気すら作られます。普通に振る舞ってきましたが、学会報告ひとつするにも怖いのが本音です。論文執筆中に当時の資料を参照しなくてはならないときや何かのキーワードがきっかけで、高圧的な態度や攻撃的なメールの文章などが一度にフラッシュバックしてしばらく執筆はもちろん、眠ることもできなくなることもあります。調査実施、ありがとうございます。
- ・専任で勤めた経験があるかどうかの質問への回答に「ある」「ない」では答えられない項目があった。専任だが任期付きの場合、サバティカルや採用に関する権限は与えられていないので、そもそもそういった経験をする場に参加していない。学会が主体となってこうした調査を行うようになったことは、素直に評価したいと思う。日本の学会は研究不正や剽窃を扱う倫理委員会があっても、暴力・ハラスメントの被害を訴えることができる場がない事が気がかりだった。被害者が今後のキャリアへの影響を心配せずに相談できる場を作ってもらいたい。個別事案の解決を目指すための調査ではないとのことだが、足元でリアルに起こっている一つ一つのケースへの対応策・解決策・防止策の策定に向けても尽力を願いたい。
- ・見聞きした事例における指導教員が私自身の指導教員なのか、他の指導教員なのかが不明

だと感じた。

- ・教員からのハラスメントには耐えるしかない。他の教員にも相談したが、その人は今色々大変だから許してやれと加害者の肩を持ち、被害者である院生である自分に我慢を強いたことから、さらに絶望している。学术界は人格的に世間一般常識ではありえないような人が多く、研究者を育てていこうという気概がある人はごくわずか。皆自分の業績のことしか考えていない。国の博士院生への経済的な支援もほとんどないことから日本の学术界は近いうちに終わると思う。
- ・この調査がどのように使われるのか気になりました。あと、査読においてパワハラを受けることが多々ありますが、そちらの方の検討もお願いいたします。
- ・学生時代から大学教員として働いてきた今までを振り返り、つくづくハラスメントの多い世界だと思っています。この構造を揺さぶるためには事実を可視化するのがなによりも必要な作業です。企画してくださった皆様のご尽力に感謝申し上げます。
- ・調査設計・実施でのご尽力に敬意を表します
- ・女性だからといって表立って差別されることはありません(教授だから)。でも、長時間労働や学生と泊りがけで長期間研修に行く、学生と飲みに行く(今はコロナだからないですけど)、こういう話を嬉しそうに話している男性教員中心の文化には引いてしまいます。組合もありますが、介護のことは知らないふり。やっと保育は連携する保育所が出来ましたが、それもショッピングセンターの中の保育施設で、正直自分の子どもだったら預けたくないというレベル(申し訳ないですが)。こういう男性教員に教育されているせいか「女子らしい」女子学生が多くて、なんだか複雑です。
- ・1.学会報告に対して、水準が低い場合や関心が持てない場合に、コメントや発言がまったくないことは男女を問わずよくあります。無視や軽視に当たるのでしょうか？学会の場ではコメントもなく無視される、意見が全く出ない場合より、反論が出た方が良い報告だと、指導教員の一人から言われたことがあります。2.報告に対する質問や意見の中には、自分と異なる意見を持つ人からのものも当然あります。反論を攻撃的・理不尽な評価ととらえるのは違うと思います。反論には反論で返せば良いのではないかと思います、いかがでしょうか？
- ・学部上りの大学院生と社会人大学院生では違いがあると思います。学部上りの大学院生の方がこのような経験が多いのではないのでしょうか。
- ・そういえば大学院生時代、小さな事だと思っていたが嫌なことがいろいろあったことを思い出しました。決定的なひどい目には遭わずに済んだので、現在までなんとかサバイバルできているのは幸運だと思います。
- ・アカデミックハラスメントの質問が不足していると感じた。
- ・いつも自分に落ち度があったのではないかと責めてしまいます。
- ・特にありません。
- ・今回の調査に回答していて、自分はいい時代に院生、若手教員を経験し、ご指導いただき

た先生方にも恵まれていたということを感じました。他大学からも「仲のいい大学院」と言われたこともありました。

- ・当初想定していたよりも踏み込んだ設問内容が散見され、驚きました（決して不快という訳ではありませんが）。この調査が、より良い学会・学界環境実現の契機となることを願っております。
- ・「主たる介護者」とはズれるので答えられませんでした。以前同居していた父や母が健康面でいろいろな配慮が必要な時期があり、そのことは少なからず負担だったと思います。
- ・私がいままで経験したと自覚していない項目が多かったため、これまでこのようなことの加害者にも被害者になっていたかもしれないし、今後なるかもしれないということを感じさせられました。その意味で、教育的効果もあるアンケートかと思います。
- ・直接的なハラスメントは受けていないが、育児と研究の両立困難から長期間体調を崩したり、就職を先延ばしたり、研究を一時進められなかったりするなどの不利益については何も聞かれていないことが残念。
- ・社会政策学会は会員数があまり多くない組織です。その中で属性について細分化することでかなり回答者への特定性が高まるように思います。実態調査ではついて回る問題ですが。
- ・差別に関する質問に対してどういう差別を意味するのかがよく分かりませんでした。ジェンダー、国籍、出身大学など？
- ・社会科学系の場合、人を対象とする調査研究の倫理審査に大きな問題があります。倫理審査を通らないと調査研究ができないのに、審査委員に研究倫理の見識がなく、勝手な感覚で不当な注目を付けてくるケースを私も、他大学の院生も経験しました。倫理審査は逆らっていくい場です。少なくとも不服申し立ての制度と機関を設ける必要があります。
- ・普段権力関係に無意識の回答者がハラスメントについて再認識する貴重な機会だと思います。学内向け調査を実施する際の参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・女子大学にいるせい嫌い嫌な思いをしたことがない。もし男性の多い大学院だったら、どうだったのだろう、と思うことが多い。また女子大でも、他の女子大の大学院に行っていた友人が指導教官からひどいセクハラを受けた経験を聞いたことがある（大学に訴えたが認められず退学した）。セクハラ、アカハラに対しては、大学側が毅然とした態度を取る必要があると思う。
- ・特にありません。
- ・指導教員ではないが、博士論文の査読で副指導教官からパワハラを受けた。その結果、半年博士号をとるのが遅れた。その内容は、博士論文の草稿を提出後、個別に呼び出され、録音の許可を求めたが却下されたうえで、口頭試問までに到底修正できない修正を求められ、口頭試問を取り下げて追加調査することになった。相談した指導教官からは、将来就職などに不利になるから訴えない方がよいと言われ、半年提出を遅らせた。その背景に

- は、指導教官と博士論文の主査になった福指導教官の確執がある。
- ・セクハラ問題とパワハラ問題が区別されていないように考えられる。
 - ・回答が遅くなってしまいましたが、とても重要な調査であると思います。おそらくは10年ひと昔で、今は以前に比べればジェンダーフリーな研究環境になってきていると思います。それでも、良くも悪くも自分が「女性だから」そのような対応をされる、と感じることはなくはありません。それは、周りから見ると気持ちの良いものではないと考えます。この調査の知見が、学会はもちろん、日本全体の研究環境の向上につながることを願います。
 - ・任期付き講師を担った時に、やはり「差別的」対応を受けたと思って、関連する項目は「はい」とした。しかし、制度自体が差別的であり、「ハラスメント」というべきかは疑わしいのが気になっている。
 - ・ハラスメントのない研究環境構築のために、是非研究成果を発信してください。
 - ・調査回答しながら、自分のポジションがどれだけ制度によって守られているかを改めて確認しました。
 - ・「研究環境調査－2020年ハラスメント調査」というテーマに関し、経験したことを記載することを許してください。任期付き研究員の時代に、複数の上司から個別に学内業務に関する指示が下り、睡眠時間を削って業務に打ち込んでも仕事を終えることができず、研究時間が全く確保できなかった時期がありました。ストレス性の潰瘍を患い、研究職を諦めるかというところまで追い詰められた結果、せめて学内に一名でも、自分の仕事内容の全容を包括的に把握している上司が欲しい旨を、所属組織に訴えました。その結果、組織内の全体的な研究会でコメントしても、司会の教授に何度も発言を妨げられる等、露骨なハラスメントに遭いました。ごく一部の先生方は理解を示してくれましたが、組織内で有力な教授陣にハラスメントを伴って責められると、任期付き研究員は極めて不利な立場に追い込まれます。このような重要な調査をしていただき、心より感謝申し上げます。
 - ・お疲れ様です。大学教職員における雇用形態差別・非正規雇用の問題は学会としても取り組むべき課題かと感じています。
 - ・昔の記憶はあいまいで、正確さに欠けている恐れがある。
 - ・特にありません。
 - ・このような調査をしていただき、ありがたいと考えています。院生のときに、精神的に追い詰められたことがあり、一時期は何もできなくなりました。第一に、学内奨学金の不当な採否決定、学内研究機関での遅配や意に沿わないレポートの撤回指示がありました。また、セクハラも目のあたりにし、被害者を支援したことがあります。第二に、某学会で報告の際に気分を害する発言をされました。その後、学会の名簿から名前を消されました。偉い人には何も言えない雰囲気がありました。この調査は、今まで闇に包まれてきたことが明らかにできると考えています。学界という産業は、ブラックな要素が多くあるように思えます。研究分野によって差があるかもしれませんが、この調査結果次第では、他の学会

などにも協力してもらい、大規模な調査を実施しても良いように思えます。私自身も、可能な範囲でご協力できればと考えています。

- ・自分で思い当たらないけど他人に不愉快な思いをさせているかもしれないのでそれを質問項目にしては。
- ・特になし
- ・狭義のセクシュアル・ハラスメントにやや偏りがある印象も持ちました
- ・「セクハラ」に関してのアンケート項目はあったが、結婚の予定を聞かれたり、結婚をあきらめたりするように言われたりした経験の方が多いが、回答群には見当たらなかった。割と、この分野では特有のことだと感じているので、調査項目に含まれていないことを残念に感じる。
- ・よりよい研究環境をつくるためのお取組みに、心から感謝申し上げます。ところで、虐待等を通じて自己肯定感が低くなってしまった人は、自分を卑下するあまり、多少のハラスメントは気にせず、むしろ置かれた環境に、過度な好意的評価をするのではないか、という点が気になりました。考慮済みでありましたら、申し訳ございません。
- ・こういう調査項目があるということは、こうした経験をする人がいるということでしょう。私の職業的生涯は基本的にそうしたものとは無縁でした。それが例外的なキャリアであったのか、それとも大部分の研究者は私と同じような道を歩んだのか、調査結果に興味があります。
- ・ハラスメントは、教員として学生に助言や指導をすることはありますが、自身が受けたハラスメントに適切に対応してこなかったことに改めて気づかされました。
- ・ハラスメントに関して、管理職的立場に立った時、どのように解決する工夫をしたかも質問項目にあるとよかったと思います。また単純に yes、no と割り切れない質問もありました。
- ・ハラスメント行為の中身を理解していない人も多し、自分がハラスメントをされていると意識していない人もいると思うので、調査は意識の啓発にもなると思います。問題のある人が調査に協力してくれないこともありそうなのが、難点ではありますが。
- ・意義のある調査だと思います。

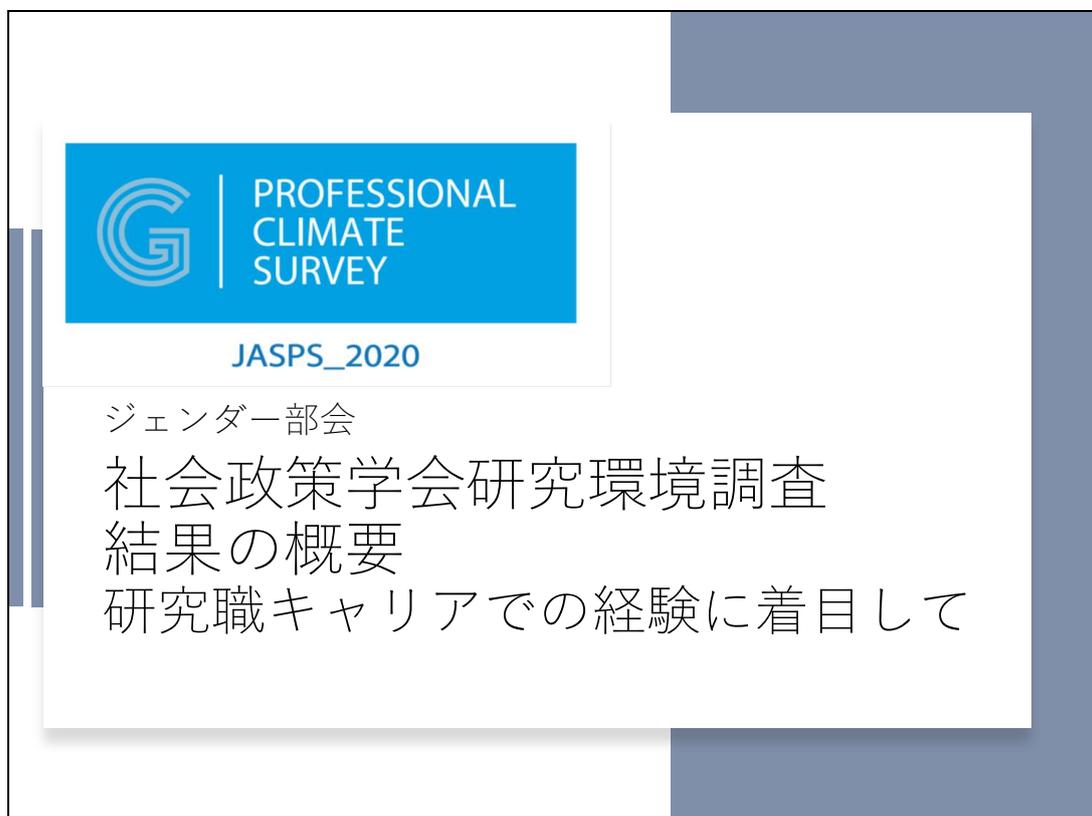
【第 141 回大会・共通論題報告資料】

2020 年 10 月 24 日（土） 社会政策学会第 141 回（2020 年度秋季）大会

共通論題 「仕事の世界における権力関係とハラスメント」

特別報告 「社会政策学会研究環境調査」の結果の概要——研究職キャリアでの経験に着目して」 萩原久美子（ジェンダー部会世話人代表・下関市立大学）

スライド 1

The slide features a blue header box with a white 'G' logo and the text 'PROFESSIONAL CLIMATE SURVEY'. Below this is the text 'JASPS_2020'. The main content area contains the text 'ジェンダー部会', '社会政策学会研究環境調査', '結果の概要', and '研究職キャリアでの経験に着目して'. The slide is framed by a blue border on the right and bottom sides.

PROFESSIONAL
CLIMATE
SURVEY

JASPS_2020

ジェンダー部会
社会政策学会研究環境調査
結果の概要
研究職キャリアでの経験に着目して

はじめに

――研究職のキャリア形成とハラスメント経験への着目

- 1991年 労働省「セクシュアルハラスメント・ガイドライン」
- 1993年 京大・矢野事件（強姦、立場利用による権力支配）
高等教育機関・研究者養成過程におけるハラスメントへの着目
⇒東京大学女性教官懇話会（研究職に固有の性差別としてのアカハラ）
⇒キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク（1997年）
- 大学におけるセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、
アカデミックハラスメントへの対策、防止の動きが広がる
⇒学生－教員の権力関係が中心
- 研究者養成過程を含む研究職キャリア全体での実態、影響は？
研究活動、業績構築の過程におけるハラスメント経験の実態
職場（大学等）、研究コミュニティ（学会など）の権力関係
- 調査：社会政策学会初の試み

2

本報告の流れ

1. アメリカ経済学会調査の概要
Professional Climate Survey
2. 社会政策学会2020年調査
結果の概要（日米比較と性別を中心に）
3. キャリア形成過程での差別的処遇、ハラスメント被害経験と属性
－性別、年齢、任期の有無、育児介護の有無、国籍を中心に

- ◆まとめと結果の含意
- ◆自由記述
- ◆今後に向けて

*本調査の詳しい結果は、社会政策学会HPで共有する予定です。

3

1. アメリカ経済学会調査 (2019)

社会政策学会と本調査へのヒント

- アメリカにおけるMe-too運動、有力経済学者によるハラスメント
- 2018年 経済学における研究環境に関する特別委員会の勧告
「公平・多様性・職業行動基準に関する委員会」発足
- 2019年 Professional Climate Surveyを実施
属性と社会的諸関係の差異による
研究活動、アカデミア（高等教育機関、学会等）での
不平等、分断、ハラスメント経験の実態に着目
* 研究キャリアの形成過程（高等教育機関等・組織、学会）
- 質問項目は47項目⇒27項目が属性・家族構成・就業状況
性別／性自認／セクシュアリティ／人種／国籍／宗教／年齢
／政治意識／疾病・障がい／婚姻関係／家族構成（ケア責任）／
研究歴／主要研究領域／勤務先の種類／任期の有無／労働条件

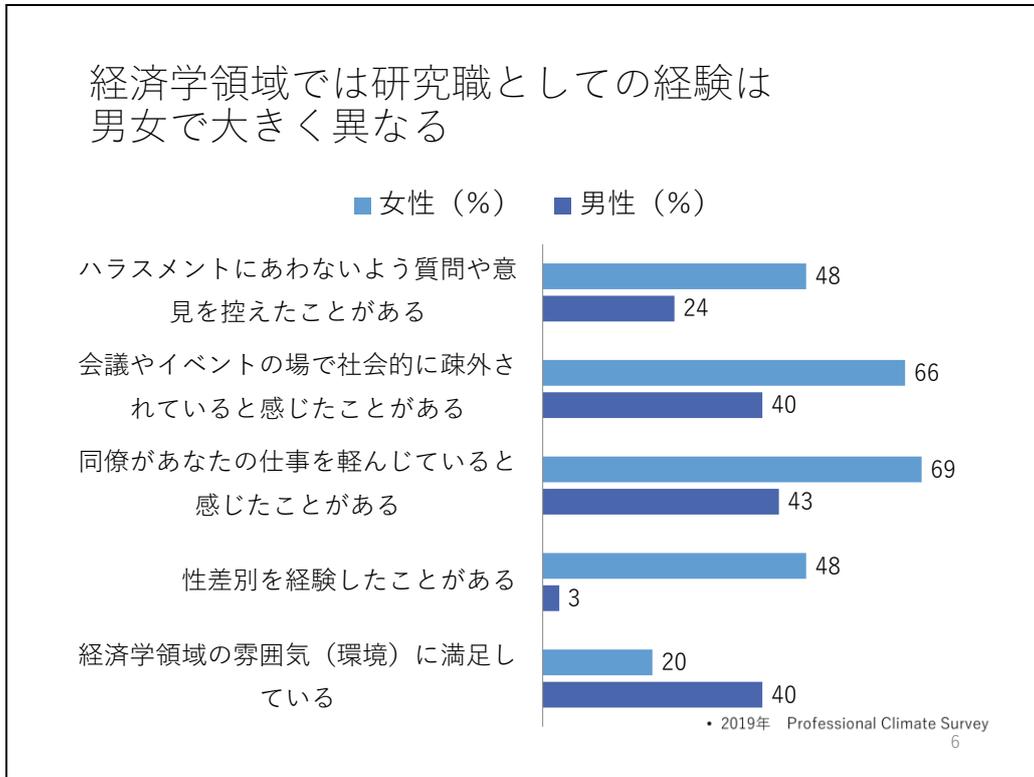
4

【参考：AEA調査】

- 実施方法：インターネット調査
- 実施期間
2018年11月、1%抽出調査
2018年12月－2019年1月 新会員
2018年12月－2019年2月 会員（元・現とも）
- 対象：AEA会員 4万5435人
（2009～2021年に会員である／だった）
- 回答者数 1万406人（回収率22.9%）
男性70%、女性30%
白人79%、アジア系15%、パシフィックアイランダー5%、
ラテン系3%、黒人0.5%、ネイティブアメリカン0.1%

5

スライド 6



スライド 7

性別・人種・エスニックアイデンティティによって、差別、不公平な処遇の経験が大きく異なる。

	白人男性	白人女性	アジア系男性	アジア系女性	黒人男性	黒人女性	ラテン系男性	ラテン系女性
人種・エスニックアイデンティティによる差別、不当な処遇の経験 (%)	4	5	22	28	43	53	13	22
性による差別、不当な処遇の経験 (%)	4	49	3	39	3	49	2	54
「いずれ」か「両方」を経験 (%)	6	50	22	44	43	62	15	58
ハラスメントや差別を回避するために選択した行動の種類 (数) **	1.5	3.4	2.2	3.3	3.4	4.4	2.4	4.0

• 2019年 Professional Climate Survey

** 行動の種類：「特定の大学院への進学を避ける」「特定の雇用とポジションへの応募をやめる」「特定の雇用とポジションを離れる」「学会や研究会での発言を控える」「学会に参加しない」「職場や学会後のイベントに参加しない」「論文の内容や結論を書きかえる」など

7

2. 社会政策学会2020年調査の概要

【社会政策学会研究環境調査】

- 実施方法：インターネット調査
- 実施期間：2020年5月7日~6月10日まで
- 対象：社会政策学会会員1168人（2020年3月時点）
- 回答者数：156人（回収率13.3%）

【質問項目 15項目】

- 問14はA E A調査票と共通、問12、16はA E A調査票を加筆修正、問10はA E A調査票を参考に新たに作成
- 研究者育成過程 ⇒採用、昇任・昇格、研究過程（研究費配分、評価、業務の配分）⇒キャリア継続
- 質問においては「アカデミックハラスメント」「セクシュアルハラスメント」「パワーハラスメント」等のワーディングを用いず、「行為」「経験内容」の有無を聞いた。
- 主観的評価（「見聞きした」「差別的だと感じる」）⇒研究環境への評価、認知

8

差別経験、排除、ハラスメント経験 調査結果の概要

■研究職のキャリア形成過程、研究過程、キャリア継続で「常態」

研究者育成過程から、

採用、昇任・昇格、研究過程（研究費配分、評価、業務の配分）

キャリア継続

（フォーマル／インフォーマル集団との関係性、差別的処遇、

権力濫用による排除・支配、性暴力）

差別、ハラスメントは1件でも多い！

■性別

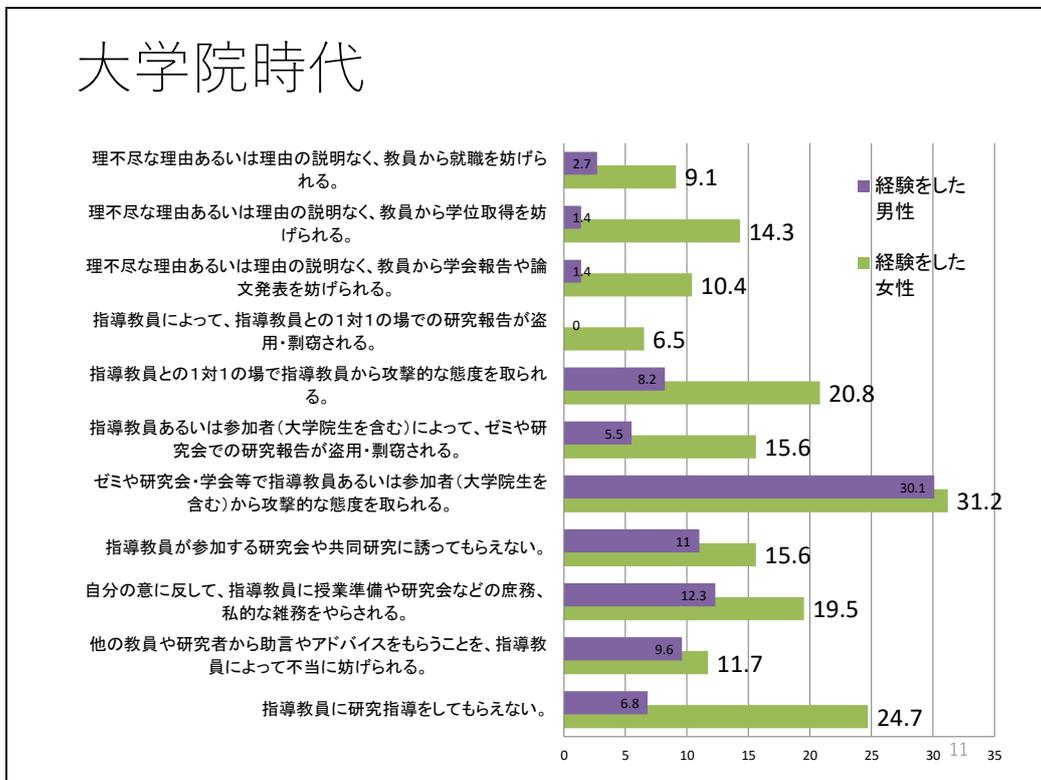
- 年齢
- 現在の地位
- 研究歴
- 育児／介護の状況
- 国籍
- 博士号取得

9

スライド 10

回答者の属性（男女別）		女性	男性	（全体） 該当数	（女性） 該当数	（男性） 該当数	どちらでもない ／わからない
全 体		50.6	48.7	156	79	76	1
年 齢	10代、20代、30代	41.9	58.1	31	13	18	**
	40代	56.9	41.4	58	33	24	**
	50代	55.3	44.7	38	21	17	**
	60代、70代以上	41.4	58.6	29	12	17	**
現 在 の 地 位	大学院生	58.8	41.2	17	10	7	**
	院生以外で任期なし	50.9	48.2	114	58	55	**
	院生以外で任期あり、院生以外でその他	44.0	56.0	25	11	14	**
研 究 歴	研究歴10年以下	45.5	54.5	33	15	18	**
	研究歴11-20年	48.8	48.8	43	21	21	**
	研究歴21年以上	53.8	46.3	80	43	37	**
介 護 の 状 況	育児／介護の担い手で【ある／あった】	73.7	26.3	57	42	15	**
	育児／介護の担い手で【あったことがない】	37.4	61.6	99	37	61	**
国 籍	日本国籍を【もっている】	47.9	51.4	146	70	75	**
	日本国籍を【もっていない】	90.0	10.0	10	9	1	**
博 士 号 取 得	博士号を【取得している】	50.0	48.9	90	45	44	**
	博士号を【取得していない】	51.5	48.5	66	34	32	**

スライド 11



スライド 12

職場組織で・・・以下の経験あり (%)						
	女性	男性	介護・ 育児	(A E A 女性)	(A E A 男性)	(A E A 非白人)
採用についての差別的な処遇や対応	31.8	11.3	32	*	*	*
昇任／昇進についての差別的な処遇や対応	33.3	12.9	36	27	11	22
報酬についての差別的な処遇や対応	16.7	11.3	20	37	12	26
授業負担についての差別的な処遇や対応	24.2	21	24	28	9	21
学内の業務分担についての差別的な処遇や対応	43.9	27.4	44	43	9	24
研究費配分についての差別的な処遇や対応	13.6	6.5	16	20	12	20
研究業績評価での差別的な処遇や対応	19.7	6.5	22	*	*	*
学生による授業評価での差別的なコメントや対応	16.7	12.9	20	47	8	27
研究テーマについての差別的な処遇や対応	21.2	12.9	22	*	*	*
サバティカルや研修機会の提供での差別的な処遇や対応	12.1	14.5	16	9	4	8
共同研究や研究会への参加機会についての差別的な処遇や対応	9.1	9.7	12	21	6	16
学会やシンポジウムの登壇者の選定や招聘にかかわる差別的な処遇や対応	7.6	4.8	12	32	14	27

スライド 13

研究コミュニティーで・・・ 以下の経験あり (%)	女性 (%)	男性 (%)	N=156
研究関連のイベントや会合で自分が排除されていると感じた	17.7	18.4	28
他の研究者や研究仲間に軽んじられていると感じた。	24.1	26.3	39
あなたの研究が同分野の他の研究者の研究より不当に低く評価されていると感じた。	19.0	15.8	27
あなたの研究方法や研究主題が同分野の他の研究者の研究方法や研究主題より不当に低く評価されていると感じた。	23.8	18.4	32
以下の行為（性的な表現、容姿、性行動に関する言葉によるハラスメント、性的なジェスチャーによるハラスメント）	24.1	17.1	32
他の研究者や研究仲間が、デート、恋愛、性的な関係を求めてきた。	24.1	3.9	22
他の研究者や研究仲間からの恋愛的・性的対象の求めにあなたが応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせた。	7.6	0	6
(以下の行為：ストーカー行為)	20.3	3.9	19
(以下の行為：性暴力 強制わいせつ)	14.3	0	11
(以下の行為：性暴力 レイプ)	11.8	2.7	11
他の研究者や研究仲間が上記以外の方法であなただを触り嫌な気持ちにさせた。	15.2	3.9 ₃	15

スライド 14

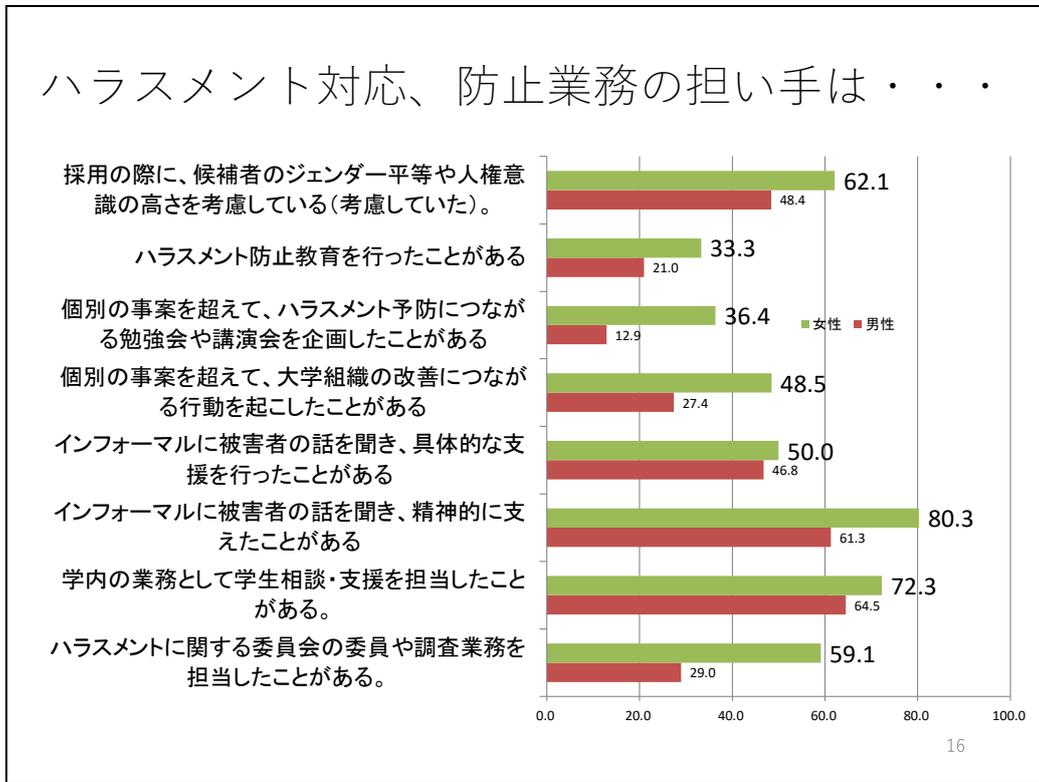
【参考Q14：A E Aの結果（%）】

	女性	男性	非白人
研究関連のイベントや会合で自分が排除されていると感じた。	65	40	53
他の研究者や研究仲間に軽んじられていると感じた。	62	38	45
あなたの研究が同分野の他の研究者の研究より不当に低く評価されていると感じた。	69	43	51
あなたの研究方法や研究主題が同分野の他の研究者の研究方法や研究主題より不当に低く評価されていると感じた。	59	40	46
以下の行為（性的な表現、容姿、性行動に関する言葉によるハラスメント、性的なジェスチャーによるハラスメント）	43	13	20
他の研究者や研究仲間が、デート、恋愛、性的な関係を求めてきた。	23	3	9
他の研究者や研究仲間からの恋愛的・性的対象の求めにあなたが応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせた。	8	1	4
(以下の行為：ストーカー行為)	10	2	5
(以下の行為：性暴力 強制わいせつ)	6	1	3
(以下の行為：性暴力 レイプ)	3	0	2
他の研究者や研究仲間が、上記以外の方法で、あなたを触り嫌な気持ちにさせた。	13	2 ₄	5

スライド 15

排除、支配、ハラスメント、暴力への対応	(%)	該当数	女性	男性
		69	39	30
所属先で正式に苦情を訴えた。	15.9	11	6	5
関係政府機関（例えば、警察や労働局）に正式に訴えた。	0	0	0	0
研究プロジェクト、委員会、関連プログラム、関連の仕事を辞めようかと思った。	34.8	24	22	17
自分の仕事の生産性や効率性が落ちた。	55.1	38	21	17
その時のポジションを離れようかと思った。	30.4	21	14	7
休職、病気休暇の取得、不本意な欠勤などにより、仕事から離れた。	11.6	8	5	3
これからは、学会や会議に出ないでおこうかと思った。	43.5	30	22	8
研究分野を変えようかと思った。	18.8	13	8	5
研究者を辞めようかと思った。	17.4	12	8	4
法的措置をとることを検討した。	8.7	6	2	4
あたかも何も起こらなかったかのように無理にふるまった。	52.2	36	22	14

15



学内のハラスメント関連業務種類数

- 女性教員は、ハラスメント関連業務種類数が多くなる(公式・非公式)

		Q13ハラスメント関連業務経験数	
院生以外	性別 (女性・その他=1)	1.104	**
	年齢	0.06	*
	非日本国籍		
	ケア経験あり		
	非テニュア		
	モデル	sig.	

17

学内のハラスメント関連業務の属性規定要因											
	Q13_1 ハラスメントに関する委員会の委員や調査業務を担当したことがある		Q13_2 学内の業務として学生相談・支援を担当したことがある		Q13_3 インフォーマルに被害者の話を聞き、精神的に支えたことがある		Q13_6 個別の事案を超えて、ハラスメント予防につながる勉強会や講演会を企画したことがある		Q13_8 採用の際に、候補者のジェンダー平等や人権意識の高さを考慮している		
	B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)	
性別（女性・その他=1）	1.847***	6.342			1.015*	2.76	1.338*	3.811			
年齢	0.066*	1.068									
非日本国籍											
ケア経験あり			1.01 †	2.744					0.777 †	2.175	
非テニユア			1.197 †	0.302							
モデル	sig.		sig.		sig.		sig.		sig.	18	

- 「女性」は**
- Q13_1ハラスメントに関する委員会の委員や調査業務を担当したことがある
 - Q13_3インフォーマルに被害者の話を聞き、精神的に支えたことがある
 - Q13_6個別の事案を超えて、ハラスメント予防につながる勉強会や講演会を企画したことがある
- 「育児介護経験あり」は、**
- Q13_2学内の業務として学生相談・支援を担当したことがある
 - Q13_8採用の際に、候補者のジェンダー平等や人権意識の高さを考慮している

3 キャリア形成過程でのハラスメント被害と性別、任期、育児介護の有無、国籍との関係

- 大学院時代、研究・教育組織、研究者としてのキャリア形成の各段階で、性別によって差別経験、ハラスメント被害の経験に明らかに差がある。 *加害者の性別は聞いていない
- A E A調査：人種・エスニシティアイデンティティと性別とのインターセクショナルリティ
 - ⇒研究活動、キャリアにおいて不利になりやすい**属性**
 - ⇒アカデミアに根付く白人男性中心主義を指摘
- 社会政策学会研究環境調査：
キャリアのどの段階で、
どんな種類のハラスメントや差別のターゲットになりやすいのか
性別+他の属性（属性規程要因：ロジスティック回帰）
 - 年齢
 - 現在の地位（任期／職位）
 - 研究歴
 - 育児／介護の状況
 - 国籍（日本国籍、非日本国籍）

20

3-① 属性と経験したハラスメント種類数との関係

- 院生時代のアカデミックハラスメントの種類数
 - ：経験した種類数に属性での有意差はない
- 経験したセクシュアルハラスメントの種類数（問14：6項目）
 - ：女性↑
- 経験した研究者コミュニティの中でのハラスメントの種類数（問14：4項目、問16：7項目）
 - ：非日本国籍、若年齢、育児・介護経験あり↑

21

		Q14セクハラ経験種類数 (⑤~⑪)		Q16研究者コミュニティの中でのハラスメント経験種類数		Q14 (①~④) + Q16研究者コミュニティの中でのハラスメント経験種類数	
院生含む全体	性別 (女性・その他=1)	B		B		B	
	年齢	0.685	**				
	非日本国籍			1.334	**	1.906	*
	ケア経験ありモデル	-0.398	†				
			sig.		sig.		sig.
院生以外	性別 (女性・その他=1)	B		B			
	年齢	0.832	**				
	非日本国籍			1.544	**	-0.048	†
	ケア経験あり	-0.439	†			1.977	*
	非テニユアモデル					0.768	†
			sig.		sig.		²² sig.

3-②キャリアの各ステージでの差別、ハラスメント被害と属性との関係

■院生時代のアカデミックハラスメント

- 女性は以下の項目でのターゲットになりやすい

- ：指導教員・参加者によってゼミや研究会での研究報告が盗用・剽窃される

- ：理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学位取得を妨げられる

		Q10_10 (指導教員あるいは参加者によってゼミや研究会での研究報告が盗用・剽窃される)		Q10_16 (理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学位取得を妨げられる)	
		B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生含む全体	性別 (女性・その他=1)	1.873**	6.506	2.096 †	8.131
	年齢				
	非日本国籍				
	ケア経験あり				
	-2大数尤度	70.783		65.557	
	自由度	4 †		4 †	
	Nagelkerke R2 乗	0.142		0.158	
	N	127		127	

■研究者コミュニティの中でのハラスメント
 男性、非日本国籍、育児・介護（経験）あり
 : 書評やコメントで
 人格攻撃のように思われる不当な評価を受けた…
 非日本国籍
 : 自分の研究に対して、
 望んでいないのに指導や助言と称して執拗に連絡が来たことがある…

■大学内での差別的な対応と属性との関係
 女性 : 採用
 若年層 : 授業負担
 任期有 : 研究費配分

■セクシュアルハラスメント
 女性
 (⇔「育児介護経験あり」では低い)

25

研究コミュニティの中でのハラスメント

	Q16_5(自分の研究に対して、望んでいないのに、指導や助言と称して執拗に連絡が来たことがある)		Q16_6 (書評やコメントで人格攻撃のように思われる不当な評価を受けた)	
	B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生含む全体				
性別 (女性・その他=1)			-1.417*	0.242
年齢				
非日本国籍	1.759*	5.808	2.634**	13.933
ケア経験あり			1.933**	6.912
-2大数尤度	75.725		92.279	
自由度	4 †		4**	
Nagelkerke R2乗	0.137		0.204	
N	130		130	

26

大学内での差別的な対応

	Q12_1採用についての差別的な処遇や対応		Q12_4授業負担についての差別的な処遇や対応		Q12_6研究費配分についての差別的な処遇や対応	
	B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)
性別 (女性・その他=1)	1.122	† 3.072				
年齢			-0.081	* 0.922		
非日本国籍						
ケア経験あり						
非テニユア					1.309	† 3.702
モデル	sig.		sig.		sig.	

27

セクシュアルハラスメント										
		Q14_6 (拒否を示したのに恋愛や性的関係を求められた)		Q14_8 (ストーキングされた)		Q14_9 (性的身体接触・侵襲してこようとする人がいた)		Q14_11 (その他の性的接触をされた)		
		B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)	
院生含む全体	性別 (女性・その他=1)	1.904**	6.712	1.910**	6.751					
	年齢					0.117*	1.124			
	非日本国籍									
	ケア経験あり					-2.100*	0.122			
	モデル	sig.		sig.		sig.		nonsig.		
院生以外	性別 (女性・その他=1)	2.395*	10.968	2.270**	9.682			1.580*	4.854	
	年齢									
	非日本国籍									
	ケア経験あり					-1.966*	0.140			
	非テニューアモデル	sig.		sig.		sig.		sig.	28	

3-③ハラスメント被害にあった後
その対応と属性との関係

結局は何のアクションも行わないが・・・

■研究領域、研究コミュニティからの無言の離脱

- これからは学会や会議には出ないでおこうかと思った
- ：女性、若年齢層

29

ハラスメントにあった後の行動		Q15_7これからは学会や会議には出ないでおこうかと思った	
		B	EXP(B)
院生含む全体	性別（女性・その他=1）	1.99**	7.315
	年齢	-0.086*	0.918
	非日本国籍		
	ケア経験あり		
	モデル	sig.	
		B	EXP(B)
院生以外	性別（女性・その他=1）	2.122**	8.348
	年齢	-1.16*	0.89
	非日本国籍		
	ケア経験あり		
	非テニユア	1.612 †	5.011
モデル	sig.		

まとめと含意①

■大学院時代、研究・教育組織、研究者としてのキャリア形成過程で

- ①いずれの段階でも、女性はセクシュアルハラスメントだけでなく、幅広く差別的処遇、ハラスメント被害に遭遇しやすい。
 - ②研究・教育組織では、「ケア（育児介護経験あり）」は差別的処遇を経験する種類が増える。
 - ③研究者として組織に入っても「院生以外（任期あり、その他）」は研究に関して不当な経験に遭遇しやすい。
 - ④国籍は重要な変数として注意を払う必要がある。
- * 交差性の可視化が課題

まとめと含意②

■キャリア形成初期に蓄積されるハラスメント経験

院生時代の女性の経験

「学位取得の妨げ」「盗用・剽窃」

■キャリア形成中盤における差別的待遇

「ケア（育児介護経験あり）」

「院生以外（任期あり、その他）」

■キャリア形成に与える深刻な悪影響

*自由記述：過酷な経験①②



自由記述：過酷な経験(1)

- 「院生のときに、精神的に追い詰められたことがあり、一時期は何もできなくなりました。」
- 「アカデミックハラスメントは研究者のキャリアを狂わせます。人格・尊厳を傷つけます。…論文執筆中に当時の資料を参照しなくてはならないときや何かのキーワードがきっかけで、高圧的な態度や攻撃的なメールの文章などが一度にフラッシュバックしてしばらく執筆はもちろん、眠ることもできなくなることもあります。…普通に振る舞ってきましたが、学会報告ひとつするにも怖いのが本音です。」
- 「いつも自分に落ち度があったのではないかと責めてしまいます。」
- 「大学院時代における指導教員の理不尽な対応による影響はまだ残っております。指導教員をかえて対応はしましたが、理不尽な対応は後々に影響を与えます。」

自由記述：過酷な経験(2)

- 「任期付き職の時代に…ストレス性の潰瘍を患い、研究職を諦めるかというところまで追い詰められ…所属組織に訴えました。その結果…露骨なハラスメントに遭いました。ごく一部の先生方は理解を示してくれましたが、組織内で有力な教授陣にハラスメントを伴って責められると、任期付き職は極めて不利な立場に追い込まれます。」
- 「研究者として若いころ、密室1対1状況で、権限と権威を取り違えた役職教員に、理不尽で恫喝的なことを言われたことがあります。ただその時は、ハラスメントだとは認識できませんでした。」
- 「調査結果の解釈の際には、今回の調査対象者には最悪の経験をした人たちは含まれていない可能性があることに留意が必要だと思います。私のかつての研究仲間の中にも、大学院生や研究職初期キャリアの時期にハラスメントを受け、優れた業績を積んでいたにも関わらず研究職以外に転職した人や、何年後かに命を絶った人が複数います。そういった人たちの回答は得られません。」

34



今後に向けて

■継続的な調査の必要性（自由記述から）

「教育的効果もあるアンケートでした」

「他の学会などにも協力してもらい、大規模な調査を実施しても良い」

「ハラスメントの多い世界だと思っています。この構造を揺さぶるためには事実を可視化するのがなによりも必要な作業」

■学会員のハラスメント防止力、対応力の強化

キャリア形成の初期段階におけるハラスメントの防止が必要

大学・組織におけるハラスメント防止体制へのコミットメント

(例) アメリカ政治学会：

ハラスメントをテーマにしたワークショップを定期開催

■研究職キャリアにおけるハラスメント被害への着目

性別、ケア（経験）の有無、国籍、セクシュアリティ等の交差性

既存の学会文化、研究活動規範に潜在する権力作用の検証

* 自由記述「学术界の問題」 (1) (2)

35

自由記述：学術界の問題(1)

- 「教員からのハラスメントには耐えるしかない。他の教員にも相談したが、その人は今色々大変だから許してやれと加害者の肩を持ち、被害者である院生である自分に我慢を強いたことから、さらに絶望している。」（大学院生）
- 「加害者が権威として地位を確立している場合は、周囲も追随しかばいます。またその権威や立場が重要なので院生にひどいことをしていてもそれはそれということです。果ては抗議した被害者側がそういうことを言い立てるおかしな人であって、「加害者こそが被害者だ」という雰囲気すら作られます。」
- 「学術界は人格的に世間一般常識ではありえないような人が多く、研究者を育てていこうという気概がある人はごくわずか。皆自分の業績のことしか考えていない。国の博士院生への経済的な支援もほとんどないことから日本の学術は近いうちに終わると思う。」
- 「人事委員会の雑談で業績より美人だからとか人柄がよい、とか、きれいどころを並べるというような不快な表現は結構あり、そのたびに反吐がでるような思いになります。」
- 「査読においてパワハラを受けることが多々あります…」
- 「副指導教官からパワハラを受けた。その結果、半年博士号をとるのが遅れた。…その背景には、指導教官と…副指導教官の確執がある。」
- 「任期付き職の時に、やはり「差別的」対応を受けたと思って、関連する項目は「はい」とした。しかし、制度自体が差別的であり、「ハラスメント」というべきかは疑わしいのが気になっている。」

自由記述：学術界の問題(2)

- 「学会での研究環境の風通しをよくできないのでしょうか。特定のテーマ・研究方法・人物で動いていると思います。現在の研究環境は特定の人間を優遇し、その仲間だけがいい思いをして、気に入らない人間は排除するという状況になっているのではないかと思います。」
- 「長時間労働や学生と泊りがけで長期間研修に行く、学生と飲みに行く、こういう話を嬉しそうに話している男性教員中心の文化には引いてしまいます。」
- 「上層部はハラスメントをしている人間を擁護し、ハラスメントされている人間を問題視し、攻撃しております。そして、その環境は陰湿化・悪化の傾向がみられます。」
- 「そういえば大学院生時代、小さな事だと思っていたが嫌なことがいろいろあったことを思い出しました。決定的なひどい目には遭わずに済んだので、現在までなんとかサバイバルできているのは幸運だと思います。」
- 「調査回答しながら、自分のポジションがどれだけ制度によって守られているかを改めて確認しました。」
- 「「同僚には相談しにくい」と言っていて、ハラスメント問題に対応しようとしている友人からの相談を、幾人からか、受けたことがあります。こうした組織外のインフォーマルネットワークの機能は重要なかもしれません。」
- 「社会科学系の場合、人を対象とする調査研究の倫理審査に大きな問題があります。倫理審査を通らないと調査研究ができないのに、審査委員に研究倫理の見識がなく、勝手な感覚で不当な注文を付けてくるケースを私も、他大学の院生も経験しました。倫理審査は逆らいにくい場です。少なくとも不服申し立ての制度と機関を設ける必要があります。」

自由記述：調査への疑問や注文(1)

- 「自身の体験の有無を多数質問されているが、非該当が多く、想定サンプルにジェンダーバイアスがかかっているないか、検討希望します。」
- 「アカデミックハラスメントの質問が不足していると感じた。」
- 「「セクハラ」に関してのアンケート項目はあったが、結婚の予定を聞かれたり、結婚をあきらめたりするように言われたりした経験の方が多いが、回答群には見当たらなかった。割と、この分野では特有のことだと感じているので、調査項目に含まれていないことを残念に感じる。」
(大学院生)
- 「他人のホモフォビックな言動などで不快な気持ちになる事も多いので、その点についても調査項目があっても良かったのではないかと感じます。」
- 「学会報告に対して、水準が低い場合や関心が持てない場合に、コメントや発言がまったくないことは男女を問わずよくあります。無視や軽視に当たるのでしょうか？ …報告に対する質問や意見の中には、自分と異なる意見を持つ人からのものも当然あります。反論を攻撃的・理不尽な評価ととらえるのは違うと思います。反論には反論で返せば良いのではないかと思います。いかがでしょうか？」

38

自由記述：調査への疑問や注文(2)

- 「ハラスメントに関して、管理職的立場に立った時、どのように解決する工夫をしたかも質問項目にあるとよかったと思います。」
- 「大学におけるハラスメント委員会の設置状況、その機能状況、ハラスメントに関しての大学の処分方針、処分事例などについての質問もあるとよかった。」
- 「セクハラ問題とパワハラ問題が区別されていないように考えられる。」
- 「直接的なハラスメントは受けてないが、育児と研究の両立困難から長期間体調を崩したり、就職を先延ばしたり、研究を一時進められなかったりするなどの不利益については何も聞かれてないことが残念。」
- 「依頼を受けた重要な社会活動や学会活動について、職場（上司）の承認が得られなかったり、その仕事を承認しなかったはずの上司が本人に代わってその仕事を受けていたりして、とてもしんどい思いをしています。同僚も同様状況で困っていましたが、今回の調査では、こうした状況の設問がありませんでしたが、切実な問題だと考えています。」

39

自由記述：調査への期待や関心(1)

- ・「学生時代から大学教員として働いてきた今までを振り返り、つくづくハラスメントの多い世界だと思っっています。この構造を揺さぶるためには事実を可視化するのになによりも必要な作業です。」
- ・「こういう調査項目があるということは、こうした経験をする人がいるということでしょう。私の職業的生涯は基本的に、そうしたものは無縁でした。それが例外的なキャリアであったのか、それとも大部分の研究者は私と同じような道を歩んだのか、調査結果に興味があります。」
- ・「日本の大学・大学院の状況を知るのに有用な調査であると思う。」
- ・「この調査をきっかけに少しでもアカデミアの領域での権力構造を認識してもらいたいと思いました。」
- ・「当初想定していたよりも踏み込んだ設問内容が散見され、驚きました（決して不快という訳ではありませんが）。この調査が、より良い学会・学界環境実現の契機となることを願っております。」
- ・「大学教職員における雇用形態差別・非正規雇用の問題は学会としても取り組むべき課題かと感じています。」
- ・「社会政策学会だけでなく、その他の学会でも（各ディシプリンの代表的学会などの主要なところで構わないので）、調査してください。本調査は、日本の学術界にとって必要なものだと思います。調査・研究が進むことを願っています。」
- ・「ハラスメントのない研究環境構築のために、是非研究成果を発信してください。」
- ・「アカデミズムは男性中心主義的で息ができないので、こうした調査が生かされればよいと思う。」

40

自由記述：調査への期待や関心(2)

- ・「とても重要な調査であると思います。おそらくは10年ひと昔で、今は以前に比べればジェンダーフリーな研究環境になってきていると思います。それでも、良くも悪くも自分が「女性だから」そのような対応をされる、と感じることはありません。それは、周りから見ると気持ちの良いものではないと考えます。この調査の知見が、学会はもちろん、日本全体の研究環境の向上につながることを願います。」
- ・「調査結果を広く共有して頂きたい。」
- ・「学会が主体となってこうした調査を行うようになったことは、素直に評価したいと思う。日本の学会は研究不正や剽窃を扱う倫理委員会があっても、暴力・ハラスメントの被害を訴えることができる場がない事が気がかりだった。被害者が今後のキャリアへの影響を心配せずに相談できる場を作ってもらいたい。個別事案の解決を目指すための調査ではないとのことだが、足元でリアルに起こっている一つ一つのケースへの対応策・解決策・防止策の策定に向けても尽力を願いたい。」
- ・「普段権力関係に無意識の回答者がハラスメントについて再認識する貴重な機会だと思います。」
- ・「ハラスメントは、教員として学生に助言や指導をすることはありますが、自身が受けたハラスメントに適切に対応してこなかったことに改めて気づかされました。」
- ・「私があまり経験したと自覚していない項目が多かったので、これまでこのようなことの加害者にも被害者になっていたかもしれないし、今後なるかもしれないということを自覚させられました。その意味で、教育的効果もあるアンケートかと思います。」

41

ジェンダー部会

「社会政策学会研究環境調査結果の概要——研究職キャリアでの経験に着目して」

回帰分析表

スライド 17

表1 ハラスメント関連業務経験種類数の規定要因

		Q13ハラスメント 関連業務経験数
院生以外		B
	性別（女性・その他=1）	1.104 **
	年齢	0.06 *
	非日本国籍	
	ケア経験あり	
	非テニユア	
	F値	5.412 ***
	自由度	5
調整済みR ² 乗	0.174	
N	106	

* p < .05, **p < .01, ***p < .001

スライド 18

表2 学内のハラスメント関連業務の属性規定要因

		Q13_1ハラスメントに関する委員会の委員や調査業務を担当したことがある	Q13_2学内の業務として学生相談・支援を担当したことがある		
		B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生以外	性別（女性・その他=1)	1.847 ***	6.342		
	年齢	0.066 *	1.068		
	非日本国籍				
	ケア経験あり			1.01 †	2.744
	非テニユア			-1.197 †	0.302
- 2 大数尤度 自由度		121.222 5 ***		116.63 5 **	
Nagelkerke R2乗		0.252		0.184	
N		106		106	

Q13_3インフォーマルに被害者の話を聞き、精神的に支えたことがある	Q13_6個別の事案を超えて、ハラスメント予防につながる勉強会や講演会を企画したことがある	Q13_8採用の際に、候補者のジェンダー平等や人権意識の高さを考慮している			
B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)
1.015 *	2.76	1.338 *	3.811		
				0.777 †	2.175
117.463 5 †		102.399 5 †		137.125 5 †	
0.136		0.15		0.118	
106		106		106	

† p < .1, * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

スライド 22

表3 属性による経験したハラスメント種類数の規定要因

		Q14セクハラ経験種類数 (⑤~⑪)	Q16研究者コミュニティの中でのハラスメント経験種類数	Q14 (①~④)+Q16研究者コミュニティの中でのハラスメント経験種類数
院生含む 全体		B	B	B
	性別 (女性・その他=1)	0.685 **		
	年齢			
	非日本国籍		1.334 **	1.906 *
	ケア経験あり	-0.398 †		
	F値	2.745 **	2.881 **	2.838 **
自由度	4	4	5	
調整済みR ² 乗	0.052	0.055	0.078	
N	127	130	110	
院生以外		B	B	B
	性別 (女性・その他=1)	0.832 **		
	年齢			-0.048 †
	非日本国籍		1.544 **	1.977 *
	ケア経験あり	-0.439 †		0.768 †
	非テニユア			
F値	2.838 **	2.311 *	2.066 †	
自由度	5	5	5	
調整済みR ² 乗	0.078	0.055	0.045	
N	110	113	113	

† p < .1, * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

スライド 24

表4 院生時代のアカデミックハラスメント被害の属性規定要因

		Q10_10 (指導教員あるいは参加者によってゼミや研究会での研究報告が盗用・剽窃される)		Q10_16 (理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学位取得を妨げられる)	
		B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生含む 全体	性別 (女性・その他=1)	1.873 **	6.506	2.096 †	8.131
	年齢				
	非日本国籍 ケア経験あり				
	- 2 大数尤度 自由度	70.783	4 †	65.557	4 †
Nagelkerke R2乗		0.142		0.158	
N		127		127	

† p < .1, * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

スライド 26

表5 研究コミュニティの中でのハラスメント被害の属性規定要因

		Q16_5(自分の研究に対して、望んでいないのに、指導や助言と称して執拗に連絡が来たことがある)		Q16_6 (書評やコメントで人格攻撃のように思われる不当な評価を受けた)	
		B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生含む 全体	性別 (女性・その他=1)			-1.417 *	0.242
	年齢				
	非日本国籍	1.759 *	5.808	2.634 **	13.933
	ケア経験あり			1.933 **	6.912
	- 2 大数尤度 自由度 Nagelkerke R2乗 N	75.725 4 † 0.137 130		92.279 4 ** 0.204 130	
院生以外	性別 (女性・その他=1)			-1.499 **	0.223
	年齢				
	非日本国籍			2.370 *	10.697
	ケア経験あり			2.016 **	7.51
	非テニユア				
- 2 大数尤度 自由度 Nagelkerke R2乗 N			84.155 5 ** 0.212 113.000		

† p < .1, * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

スライド 27

表 6 大学内での差別的な対応の属性規定要因

		Q12_1採用についての差別的な処遇や対応		Q12_4授業負担についての差別的な処遇や対応		Q12_6研究費配分についての差別的な処遇や対応	
		B	EXP(B)	B	EXP(B)	B	EXP(B)
院生以外	性別（女性・その他=1）	1.122 †	3.072				
	年齢			-0.081 *	0.922		
	非日本国籍 ケア経験あり 非テニユア					1.309 †	3.702
	- 2 大数尤度 自由度	98.872 5 †		104.712 5 *		61.055 5 †	
Nagelkerke R2乗		0.133		0.149		0.178	
N		106		106		106	

† p < .1, * p < .05, ** p < .01, *** p < .001

スライド 28

表7 セクシュアルハラスメント被害の属性規定要因

		Q14_6 (拒否を示したのに恋愛や性的関係を求められた)	Q14_8 (ストーキングされた)	Q14_9 (性的身体接触・侵襲してこようとする人がいた)	q14_10 (性的身体接触・侵襲をされた)	Q14_11 (その他の性的接触をされた)
		B EXP(B)	B EXP(B)	B EXP(B)	B EXP(B)	B EXP(B)
院生含む 全体	性別 (女性・その他=1)	1.904 ** 6.712	1.910 ** 6.751			1.521 ** 4.576
	年齢			0.117 * 1.124		
	非日本国籍 ケア経験あり			-2.100 * 0.122	有意な係数なし	
	- 2 大数尤度 自由度 Nagelkerke R2乗 N	90.162 4 ** 0.146 130	83.019 4 ** 0.144 130	44.736 4 *** 0.368 127		84.163 4 † 0.128 130
院生以外	性別 (女性・その他=1)	2.395 * 10.968	2.270 ** 9.682			1.580 * 4.854
	年齢				2.097 † 8.141	
	非日本国籍 ケア経験あり 非テニューア			-1.966 * 0.140		
	- 2 大数尤度 自由度 Nagelkerke R2乗 N	74.26 5 ** 0.263 113	71.29 5 * 0.212 113	39.251 5 *** 0.437 110	54.752 5 * 0.231 110	77.077 5 * 0.177 113

† p < .1, * p < .05, **p < .01, ***p < .001

スライド 30

表8 ハラスメントにあった後の行動の属性別規定要因

		Q15_7これからは学会や会議には出ないでおこうかと思った	
		B	EXP(B)
院生含む 全体	性別（女性・その他=1）	1.99 **	7.315
	年齢	-0.086 *	0.918
	非日本国籍 ケア経験あり		
	- 2 大数尤度 自由度	63.358 4 **	
	Nagelkerke R2乗 N	0.318 57	
院生以外	性別（女性・その他=1）	2.122 **	8.348
	年齢	-1.16 *	0.89
	非日本国籍 ケア経験あり 非テニユア	1.612 †	5.011
	- 2 大数尤度 自由度	50.618 5 **	
	Nagelkerke R2乗 N	0.415 50	

† p < .1, * p < .05, **p < .01, ***p < .001

【調査票】

「社会政策学会 研究環境調査——2020 年ハラスメント調査」

◇調査趣旨

日本の学界では研究者養成を焦点の一つとして、学術の再生産が課題となっています。本調査は、当社会政策学会でよりよい研究環境を整備していく一歩として、ハラスメント予防等についての取組みを考え、研究者養成に資することを目的に実施するものです。周知のように、雇用関係に限られず顧客関係や実習関係など広義の働く場において、様々なハラスメントが社会問題となっています。日本の学界では、若手研究者をめぐる厳しい環境とともに女性の研究者の割合が OECD 諸国で最低という問題が指摘されています。そこで、社会政策学会ジェンダー部会では、学界におけるハラスメントを中心に本学会員の研究環境をめぐる状況について、基礎的なデータを得ることを目的としてオンライン調査を実施することになりました。

◇調査について

本調査票は、アメリカ経済学会（American Economic Association）が 2019 年に発表した AEA Professional Climate Survey: Final Report 所収の調査票をもとに作成したものです。調査結果については、2020 年秋に開催される社会政策学会第 141 回共通論題「仕事の世界における権力構造とハラスメント(仮)」にて、報告する予定です。個人的な属性についてもお伺いしますが、集計・分析・報告・結果公表にあたっては、統計的な処理が行われ、個人が特定されることはありませんので、ご安心ください。

なお本調査は、個別事例の特定や収集を目的にはしておらず、個別事例の相談を受け付けたり解決をはかったりするものではないことをご理解ください。

会員の皆様にはぜひご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。設問数は全体で 17 問です。回答はスマートフォンでも可能ですが、選択肢の表示の関係上、パソコンや大きめのタブレットのご使用を推奨いたします。

回答期間：2020 年 5 月 7 日～31 日 17 時まで

社会政策学会ジェンダー部会ハラスメント調査プロジェクトチーム

お問い合わせ先：ジェンダー部会 jasps.gender@gmail.com

入口ボタン【私は社会政策学会員です。「調査趣旨」と「調査について」同意する】

I はじめに、あなたのことについてお伺いします。

1 あなたの性別(性自認)をお答えください（1つに○）。

- ① 女性
- ② 男性
- ③ どちらでもない／わからない

- 2 あなたの年齢に当てはまるものをお答えください（1つに○）。
- ① 10～20代
 - ② 30代
 - ③ 40代
 - ④ 50代
 - ⑤ 60代
 - ⑥ 70代またはそれ以上
- 3 現在の研究にかかわる大学院修士課程（日本の大学院に限りません）に入学してから何年ですか。最初の年を1年目と数えてください（1つに○）。
- ① 1～5年
 - ② 6～10年
 - ③ 11～20年
 - ④ 21年目以上
- 4 あなたは博士号を取得していますか、していませんか（1つに○）。
- ① 取得している。
 - ② 取得していない。
- 5 次のうち、あなたに当てはまるものをお答えください（1つに○）。
- ① 日本国籍をもっている。
 - ② 日本国籍をもっていない。
- 6 育児や介護（高齢者や障がい児者等のケア）の経験についてお尋ねします。あなたの状況に当てはまるかどうかをお答えください。（複数回答）
- ① 現在、日常的に育児の主な担い手である。はい/いいえ
 - ② 過去、日常的に育児の主な担い手であった。はい/いいえ
 - ③ 現在、日常的に介護の主な担い手である。はい/いいえ
 - ④ 過去、日常的に介護の主な担い手であった。はい/いいえ
- 7 あなたは現在、大学院生ですか(日本以外の大学院も含みます)（1つに○）。
- ① 大学院生である(休学中を含む)。→問9に進んでください。
 - ② 大学院生ではない(ポスドクを含む)。

8 大学院生ではない方に伺います。あなたの現在の所属先での職位／役職をお答えください。複数の勤め先がある方は、主なもの1つを選んでください。

- ① 定年退職した教員・研究員・名誉教授等
- ② 教授（任期なし）
- ③ 准教授（任期なし）
- ④ 講師（任期なし）
- ⑤ 助教（任期なし）
- ⑥ 研究員（任期なし）
- ⑦ 教授（任期あり・有期）
- ⑧ 准教授（任期あり・有期）
- ⑨ 助教・講師（任期あり・有期）
- ⑩ 研究員（任期あり／学振 PD 含む）
- ⑪ 非常勤講師・兼任教員等
- ⑫ その他（民間企業の非研究職、NPO 職員、自営業等）
- ⑬ 所属先はない（無職を含む）

II ここからは、日本の大学・大学院・研究機関等におけるあなたのご経験についてお伺いします。

9 あなたは、日本の大学院に学生や研究生として所属したことがありますか、それともありませんか（1つに○）。

- ① ある
- ② ない

10 あなたは大学院生の時に、以下のようなことについて、自分自身が経験をしたり、他の人について聞きしたりしたことはありますか、それともありませんか。（複数回答）

経験したことがある／ない 聞きしたことがある／ない

- ① 他の学生に比べて、就学・研究支援を受けにくい（研究費の申請、奨学金の申請、授業料の減免申請、海外渡航・留学等の諸手続に必要な推薦状を教員が書いてくれない等）。
- ② 他の学生に比べて、研究補助、ティーチング・アシスタントなど有償の仕事が与えられない。
- ③ 他の学生に比べて、指導教員に研究指導をしてもらえない。
- ④ 他の教員や研究者から助言やアドバイスをもらうことを、指導教員によって不当に妨げ

られる。

- ⑤ 自分の意に反して、指導教員に授業準備や研究会などの庶務、私的な雑務をやらされる。
- ⑥ 他の学生とは異なり、指導教員が参加する研究会や共同研究に誘ってもらえない。
- ⑦ ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)から研究内容について理不尽な評価をされる。
- ⑧ ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)から攻撃的な態度を取られる。
- ⑨ ゼミや研究会・学会等で指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)からため息や嘲笑を受けるなど軽視・無視される。
- ⑩ 指導教員あるいは参加者(大学院生を含む)によって、ゼミや研究会での研究報告が盗用・剽窃される。
- ⑪ 指導教員との1対1の場で指導教員から研究内容について理不尽な評価をされる。
- ⑫ 指導教員との1対1の場で指導教員から攻撃的な態度を取られる。
- ⑬ 指導教員との1対1の場で指導教員からため息や嘲笑を受けるなど軽視・無視される。
- ⑭ 指導教員によって、指導教員との1対1の場での研究報告が盗用・剽窃される。
- ⑮ 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学会報告や論文発表を妨げられる。
- ⑯ 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から学位取得を妨げられる。
- ⑰ 理不尽な理由あるいは理由の説明なく、教員から就職を妨げられる。
- ⑱ 自分だけ指導教員から特別に優遇されているとして、周囲からいじめにあう。
- ⑲ 研究指導をする、相談にのる、研究に必要ななどの名目で、不適切な時間や場所に1対1で呼び出される。

11 あなたは、日本の大学・研究機関等に教育研究を行う専任スタッフ(任期付き含む)として、勤務している／勤務していたことがありますか、それともありませんか。

- ① ある
- ② ない

12 任期の有無に関わりなく、日本の大学・研究機関等に専任スタッフとして現在勤務している方、過去に勤務していた方にお聞きします。あなたは、専任スタッフとして勤務している時に、以下の項目に関するあなたの処遇や事柄で、差別的な対応だと感じた経験はありますか、それともありませんか。また、他の人についての処遇や事柄で、差別的な対応を見聞きしたことはありますか、それともありませんか。(複数回答)

自分のことについてある／ない 他の人のことについてある／ない

- (10) 採用についての差別的な処遇や対応
- (11) 昇任／昇進についての差別的な処遇や対応
- (12) 報酬についての差別的な処遇や対応
- (13) 授業負担についての差別的な処遇や対応
- (14) 学内の業務分担についての差別的な処遇や対応
- (15) 研究費配分についての差別的な処遇や対応
- (16) 研究業績評価での差別的な処遇や対応
- (17) 学生による授業評価での差別的なコメントや対応
- (18) 研究テーマについての差別的な処遇や対応
- (19) サバティカルや研修機会の提供での差別的な処遇や対応
- (20) 共同研究や研究会への参加機会についての差別的な処遇や対応
- (21) 学会やシンポジウムの登壇者の選定や招聘にかかわる差別的な処遇や対応

13 任期の有無に関わりなく、日本の大学・研究機関等に専任スタッフとして現在勤務している方、過去に勤務していた方にお聞きします。あなたは、専任スタッフとして勤務している時に、ハラスメントに関連して、次のようなことを行ったことがありますか、それともありませんか。

ある／ない

- ① ハラスメントに関する委員会の委員や調査業務を担当したことがある。
- ② 学内の業務として学生相談・支援を担当したことがある。
- ③ インフォーマルに被害者の話を聞き、精神的に支えたことがある。
- ④ インフォーマルに被害者の話を聞き、具体的な支援を行ったことがある。
- ⑤ 個別の事案を超えて、大学組織の改善につながる行動を起こしたことがある。
- ⑥ 個別の事案を超えて、ハラスメント予防につながる勉強会や講演会を企画したことがある。
- ⑦ ハラスメント防止教育を行ったことがある。
- ⑧ 採用の際に、候補者のジェンダー平等や人権意識の高さを考慮している（考慮していた）。

14 大学院生の頃や、その後の研究者としてのキャリアのなかで、以下のことを経験したことがありますか、それともありませんか。ある場合には、直近10年未満かどうかもお答えください。（複数回答）

ある／ない 時期：直近 10 年未満／10 年以上前

- ① 研究関連のイベントや会合で自分が排除されていると感じた。
- ② 他の研究者や研究仲間に軽んじられていると感じた。
- ③ あなたの研究が同分野の他の研究者の研究より不当に低く評価されていると感じた。
- ④ あなたの研究方法や研究主題が同分野の他の研究者の研究や研究主題より不当に低く評価されていると感じた。
- ⑤ 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。
 - ・適切とはみなせない性的なもの／性的含みをもつものを見せたり、使ったり、配ったりした。
 - ・性的な言葉（冗談や下ネタを含む）で、あなたや他の誰かを嫌な気持ちにさせた。
 - ・あなたの外見、身体、性行動について話し、あなたを嫌な気持ちにさせた。
 - ・性的なジェスチャーやボディランゲージで、あなたを恥ずかしい気持ちにさせ、傷つけた。
- ⑥ あなたがその気がないことをわからせようとしたにも関わらず、他の研究者や研究仲間が、デート、恋愛、性的な関係を求めてきた。
- ⑦ 他の研究者や研究仲間からの恋愛的・性的対象の求めにあなたが応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせた。
- ⑧ 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。
 - ・遠くからあなたを見つめたり、追いかけてきた。
 - ・あなたが望まないのに職場、教室、ミーティングルームの外で何度もあなたを待っていた。
 - ・あなたを監視していた。
 - ・あなたが望まないのに、電話や留守番電話のメッセージを残したり、メールを送ったり、SNS でメッセージを書き込んだり、カード、手紙、花、プレゼントを贈った。
- ⑨ 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。
 - ・あなたを撫でようとしたりキスしようとしたり、身体の性的な場所を触ろうとした。
 - ・あなたの同意なしに服を脱がそうとした。
 - ・あなたの同意なしにペニス、指、モノをあなたの膣や肛門に入れようとした。
 - ・あなたの同意なしにオーラルセックスをしようとした。
- ⑩ 他の研究者や研究仲間による以下の行為が一つ以上あった。
 - ・あなたを撫でたり、キスしたり、身体の性的な場所を触った。
 - ・あなたの同意なしに服を脱がせた。
 - ・あなたの同意なしにペニス、指、モノをあなたの膣や肛門に入れた。
 - ・あなたの同意なしにオーラルセックスをした。
- ⑪ 他の研究者や研究仲間が、⑩でリストされたもの以外の方法で、あなたを触り嫌な気持

ちにさせた。

15 問 14 で1つでもあると回答した方にお聞きします。問 14 の経験は、あなたにどのような影響を与えましたか。(複数回答)

ある／なし

- ① 所属先で正式に苦情を訴えた。
- ② 関係政府機関（例えば、警察や労働局）に正式に訴えた。
- ③ 研究プロジェクト、委員会、関連プログラム、関連の仕事を辞めようかと思った。
- ④ 自分の仕事の生産性や効率性が落ちた。
- ⑤ その時のポジションを離れようかと思った。
- ⑥ 休職、病気休暇の取得、不本意な欠勤などにより、仕事から離れた。
- ⑦ これからは、学会や会議に出ないでおこうかと思った。
- ⑧ 研究分野を変えようかと思った。
- ⑨ 研究者を辞めようかと思った。
- ⑩ 法的措置をとることを検討した。
- ⑪ あたかも何も起こらなかったかのように無理にふるまった。

16 全員に伺います。あなたは、大学院生の頃や、その後の研究者としてのキャリアのなかで、次のようなことを経験したことがありますか。(複数回答)

ある／なし

- ① 研究上の上下関係の中で、望んでいないのに、飲み会に繰り返し参加させられる。
- ② 指導教員や先輩、研究仲間の意に反さないよう、就職先や転職先、学位取得時期、昇進時期、研究テーマ、研究仲間の選択などについて配慮をしたことがある。
- ③ 指導教員や先輩、研究仲間からの求め(恋愛・性的対象以外)に応じなければ、何らかの報復がある／応じれば何らかの対価があるかのように思わせられる経験をした。
- ④ 自分の研究に対して、c cメール、メーリングリスト、ブログ、SNS など他の人にも知らせる形で不当な攻撃を受けたことがある。
- ⑤ 自分の研究に対して、望んでいないのに、指導や助言と称して執拗に連絡がきたことがある。
- ⑥ 自分の研究に対する書評やコメントで、人格攻撃のように思われる不当な評価を受けたことがある。
- ⑦ 他の研究者が外見や容姿によって評価されていることを見聞きして、不快な思いをしたことがある。

17 この調査に関して、あなたの意見やお考えをご自由にお書きください。